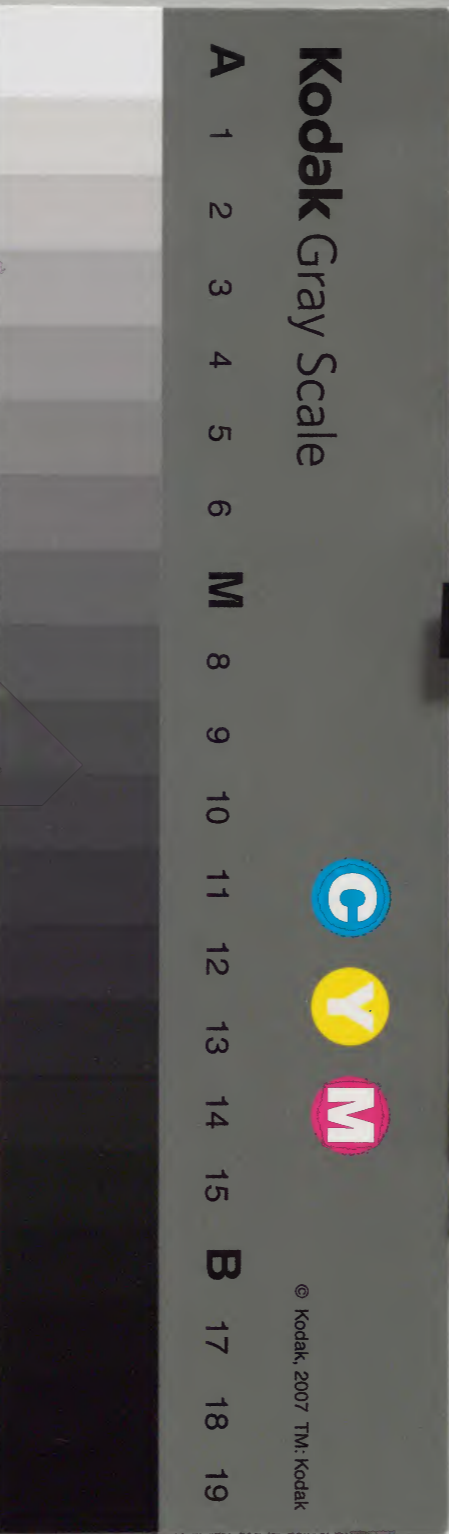
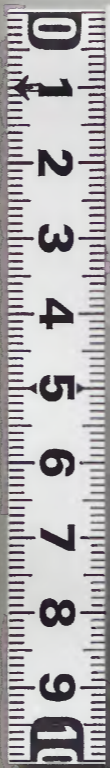


漱石全集

十

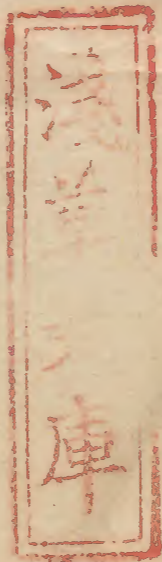
内閣文庫		和書
番號	和 15382	
冊數	25 (13)	
函號	181 116	類





一
日
御
金
鑑
第十

御
普
請



寛文六年二月二日

覺



一 在年之草木之根近地而風雨之時川筋之土砂流出水
仍滞之有自今以後草木之根地而後可為停止事

一 川上在右之山方木之根之如之高春之木苗之根付赤流
不為根下任事

一 道前之川筋河系木新紀之田畑記或ハ竹木茂若
之住之新規之策也 後進川筋中分事

附山中燒畑新規之仕万分事

右之條、聖下、お守之、未年、山、檢使、お、控、致、遠、有、等、於、
下、為、見、分、之、台、代、古、申、上、お、觸、志、也

寛文六年二月二日

久
大
和
寺
編
原
漢
寺
河
豐
後
寺
酒
雅
步
氏

寶永三戌年十二月 十日 萩原寺

一、此、科、初、願、入、會、善、後、而、之、内、寺、社、方、
御、朱、印、地、之、法、役、免、件、之、由、方、人、是、法、也、其、出、不、後、相、
寺、以、有、以、度、也、先、中、上、相、何、寺、社、願、之、自、願、初、願、並、人、是、法、
迄、元、年、前、以、後、相、極、也、者

享保六子年八月廿二日書付 大工保長門守殿

覺

法圓堤川除武軍損不之善法之依一國一各又二十
万石以上高之此今迄之通好之く此以下自善法
難成打換置不之也且本之成役之儀方其成之方も難左
大平成善後より之不和料取順之善方別而彼割法方
出来也 此儀よりも右入用之加方とあり之方自善
法之難成不之成之可也中出之善相也却定事以之形也
了也中々

但亦方在以上... 内... 少... 願...
... 場所... 下方... 同... 方... 以上

子文

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

享保六丑年六月

覺

一 尚春大... 御... 侍... 上... 丑年
... 侍... 御... 始... 丑年... 上... 御... 入... 侍... 入...
... 侍... 一

一 亦... 入... 用... 表... 丑... 御... 行... 丑... 年...
... 亦... 中... 侍... 或... 中... 上... 御... 丑... 年... 任... 事... 丑... 年...
... 御... 亦... 入... 用... 御... 表... 丑... 年... 御... 行... 丑... 年...

萬一蓋之貴云云此の如き事は、
此後又々表之する中、
法役人共今迄之を得、
四六、
四六、

一 詰回御料於大ニ奉之也若し別と大切之候とも是
此仰付ル所が不叶事、
限事、
仰付ル所を合、

丑六月

享保十一年十月十九日 申書付

悪水石帯用水引渡候在方所安、
極小備申込候、
由申付、
又、
之、
材方、

此頃急度下舟

附水上之村悪く海多し新水上村悪く海深し
而して是より由りて新水上村悪く海深し

新水上村悪く海深し

右ノ通周東第御料十石代官取成ノ隙之地取茶寺住方
之荒原其ノ入急下舟

十月

享保十二年

利根川江戸川小貝川荒川越前川越前市百姓家建長
此頃急度下舟
隙之成官取成下舟
彼等而小貝川江戸川越前川越前市百姓家建長
此頃急度下舟
下舟

十月

Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

享保十七年六月廿七日

在之由善信人足之徳幸中お改村役人足高百石
一 百人戸付り治新番不同有之竹木之取山方里方
七村役者或代令事り有之人員皆持取米源方七
取高先年七集人足米源之取中古米源之成
越所一統之令以度在之相極小
一 村役人足高百石有之役人完其持持方是人七各々
完之新事
一 堤川際用水需水止也善信之役但合以新米少之米

一 和合寺に在り村に仕立の山善後大石村役人足百石有
又捨人田扶持方人足百石人足百石人足百石人
米是外七合宛之積代根を以てお後山善後了成之善
後也本年十月にお傷其善後七年正月にお傷
秋善後也本年四月にお傷其善後七月にお傷
四季大にお傷其善後也

一 石にお傷其善後不圓限之市場にお傷其善後
米賣買之時にお傷其善後之弟にお傷其善後
是れ山善後也新也

一 圓限之石月租にお傷其善後也

一 用水悪水物後にお傷其善後也
彼或は和合寺村役人足百石を以てお後山善後自
善後也其善後不給也

一 和合寺井物後にお傷其善後也
和合寺井物後にお傷其善後也

一 大石村幅主人足百石にお傷其善後也
和合寺にお傷其善後也

一 炭林中堤川深以掘井筋修造道橋木破換由身難
是地急修善後下一而村役之任集其下之為是極
之無于外從 公儀之仰月少人足銀拵持方定之
通言市之助是幸春善後下一而村役人足拵持
方人足賃人足夫之 一古是幸

但前年下致善後表善後之感分也一祈性而記
中付可分明向後之其秋お知は性而也候下
是出幸

一 以植寬橋水之枝木也林有之而 是山方之枝木之幸

根伐持送人足拵持人七合之夕死下中之枝木之
可也其後此條之上也勘定下下お是正實上幸々々
錢物款石同到也勘定下下お是正實上幸

一 土木祝亦竹切ら草庵為末明儀繩靴亦之可下
役之是也其下之去不修下之有也幸々々

一 與人足之可及中村役人足大自今未明出善後下下不出役人
是也之是也祝晚之古信不働之人是出而中拵持下幸

一 法也修後表拵持末源方之役村之役之組取兼也善後
法原之去之欲也善後役之去也中拵持下下善後

役不名就使位者善信納場不之也善信而信少成致
加平使役陣在之元ノ使役少之為中海年

但由善信使位者日善信之信ノ由善信快也成者之平
任事

右ノ通人只信也石土百端人見之并木亦是方前之仕
癖之由物信也費之由海也善信信也入氣丈夫之仕立
以役之要用力也右之役也之之平海

享保十八年

中海

覺

諸國比代官折出領不堤川除用名治丹區極揚也之役
此善信折出自善信折出也何也信而信之信也信也
之由折出及古被折水下之村組合限了中合或信合也
善信不其村限了也何也何也何也何也何也何也何也何也
不被了内之信少之奉之被折不少之自死之信用也姓
後天ノ古嶺別之堤川除也之奉教保也之信也之善信根
之信ノ折出被折不也何也何也何也何也何也何也何也何也

思為事、不龍和、舊法、不、之、後、
公儀、私、作、行、不
場、不、之、由、得、少、被、之、節、不、有、候、等、事、以、之、一、色、也、有、為、大、被、
此、類、荒、不、未、多、之、由、身、一、村、役、人、大、之、内、是、不、管、遠、之、
由、舊、法、不、被、損、之、由、入、用、被、以、村、方、被、由、成、之、由、被、
之、由、不、有、之、由、お、考、法、之、由、節、不、被、入、用、由、舊、法、不、之、由、
防、方、為、暗、之、由、大、被、之、由、多、之、由、荒、地、由、未、之、由、願、
之、由、有、之、由、入、用、由、舊、法、之、由、
公、儀、之、由、是、由、舊、法、
所、在、候、及、由、之、由、村、役、人、之、由、被、考、之、由、中、身、事、村、每、
之、由、之、由、性、之、由、一、色、お、考、之、由、之、由、性、之、由、舊、法、不、之、由、
之、由、

節、事、之、由、舊、法、折、之、由、切、之、由、被、之、由、候、之、由、可、
之、由、事、之、由、是、由、之、由、之、由、別、之、由、舊、法、不、之、由、
性、之、由、小、被、之、由、百、候、之、由、之、由、の、之、由、に、得、遠、之、由、有、之、由、由、非、お、考、
在、御、候、之、由、甚、之、由、得、遠、之、由、候、考、自、今、色、考、お、考、村、役、人、之、
不、之、由、中、小、百、候、大、之、由、之、由、お、考、之、由、合、之、由、舊、法、不、自、舊、法、不、之、由、
小、被、之、由、之、由、候、之、由、之、由、指、取、可、被、之、由、候、候、之、由、仕、取、之、由、
候、之、由、之、由、中、身、事、之、由、
一、
之、由、舊、法、不、自、舊、法、不、之、由、農、業、之、由、之、由、考、年、之、由、被、之、由、
後、之、由、加、之、由、水、程、之、由、治、之、由、候、所、要、之、由、事、之、由、不、能、之、由、考、之、由、

作事多小補に節を設け夫村役人元儀公普後時節迄
お威の付り後より節を設けしは^其出るる長及
左殿半^二を^一し^二右柳に依りて村方の故より普後不^レし
左儀不附時刻又も同刻といふ^一夫人元儀或も普言
刻より普後不恒年^一迄の^二節^一方常^レ信場亦
刻公之定^一托^レ他^一主材役人^二元^一君^二見^一巨右信場亦小
破子入^レ後^二而^一出^レ者^二控^一電^二お^一成^二の^一云^二り^一急^二度^一お改
り振^二了^一致^二も^一節^二亦^一な^二節^一防^二方^一依^レり信場亦^二不^一たり
と云^二ふ^一水^二機^一活^二弱^一信^二の^一村役人元君^二耳^一にお^二申^一

御公儀より^一石土竹木繩^二儀^一お^二申^一是^二等^一交^レり^二防^一而^レ
依^レり^二所^一要^二之^一に^二お^一威^レ右^二防^一端^二亦^一刻^二公^一之^二義^一云^二甲^一乙^二刻
公之^一信^二而^一信^二在^一支^二死^一限^二村^一役^二人^一兼^二百^一姓^二亦^一常^レ
信^二言^一之^二重^一毎^二年^一お改^レ定^二お^一申^二り^一後^二事^一
右^二柳^一出^レ水^二之^一長^二機^一内^二道^一道^二と^一田^二相^一せ^二お^一空地^二之^一津^二道^一
右^二末^一亦^二水^一押^レ家^二土^一石^二之^一右^二端^一不^レ出^二身^一防^二方^一
了^レ是^二等^一お威^レ及^二大^一破^二の^一依^レり^二右^一柳^二依^レり^一村役人
元^二君^一の^二御^一裁^二裁^一業^二之^一台^二之^一考^二由^一水^二急^一破^二の^一急^二度^一
土石^二之^一端^二不^一奇^二重^一は^二振^一信^二端^一不^レ刻^二并^一可^二重^一

事

一 井堰兼溜井用惣水法より原州法亦く依りて
 大正年自善後不として入る所水山麓交り早に接ぎ
 多し由り全う村に後善後急ぐ所依りて
 冬春溜水の内程合村又も組合を以て村限より
 小前割合より下端定杭亦も早に備置りて
 別分原州に依りて去用前法兼 去用中年より之を以て定式
 州より中を農業に附節より各原州に依りて
 耕作より入る善後由來所より区より片字亮也百石勝

のりも原州より村限より急度おろし花下路車

所年定堰に情不き格別年限より小堰も用水不

用より節より少くも是を拂出ありて初より降

より如根より石の他堰道具より新置年より用あり

より石打換根より一色に置るより善後より下路

斗車

一 川筋善後仕取より後より年より高方より方より節水より

後節より善後仕取より後より年より節水の節

より水下村より中より色よりお抱り村より多かりて節水より

由是、のち、菅後位は、多し、村役、法也、人、是、未、多、有、也、
然、了、小、高、の、村、方、の、者、位、来、り、と、お、托、也、菅、後、不、自、菅、後、不、
、亦、下、の、村、方、不、法、也、百、姓、位、也、意、勤、矣、と、云、係、方、
、後、と、お、考、し、候、と、菅、後、と、連、て、水、行、お、さ、し、候、と、云、候、也、
遠、く、水、斗、と、云、也、菅、後、不、自、菅、後、不、在、と、云、云、年、六、ヶ、年、
、若、意、并、他、徒、と、云、入、用、不、之、度、年、月、又、と、破、損、不、出、来、
、水、下、村、方、と、云、引、合、村、役、お、初、来、乃、難、候、也、と、云、云、
、小、川、谷、川、用、要、水、流、并、堰、也、と、菅、後、不、之、令、解、と、換、置、也、と、
、勤、并、て、云、云、事、

一 菅後不之方入用之候也、法也、杖、本、不、通、来、お、致、候、也、
、為、又、右、と、云、橋、通、之、親、大、小、の、法、也、云、云、高、く、強、弱、之、係、不、
、意、一、入、用、と、云、云、寸、方、小、計、法、也、と、云、云、保、方、候、也、と、附、云、
、量、之、以、入、用、不、可、致、候、と、云、云、可、成、丈、七、九、脊、振、之、用、也、と、云、
、勿、論、筋、越、圓、桿、と、云、云、内、之、中、に、板、敷、之、行、換、也、と、云、用、云、
、不、可、之、と、云、云、只、右、脚、之、候、分、と、砌、得、と、云、及、木、板、也、
、只、横、板、之、筋、お、用、也、と、云、云、事、

附、訂、係、卷、終、也、と、云、云、係、来、云、云、此、本、不、通、一、可、
、係、後、と、勤、并、と、云、云、不、可、致、候、と、云、云、事、

法也元之語其方以味為地中其村法又其地法也其後
近思者為之也其地之味也其味也其味也其味也其味也

附家同其中國造谷川小川之堰掘橋亦其地法也

新受園橫山城為津河内也其地法也其地法也其地法也

其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也

其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也

其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也

其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也

其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也

其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也

一 定武皇後所之升也其地法也其地法也其地法也其地法也
破之帝也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也
後之布也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也
以休也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也
川之新也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也
其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也
其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也
其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也其地法也

附用為井堰亦多一村限以善後不令破壞之
前水下水旱換邊地村之不善之利解也
連之組合以善後也故以取之五年以一村限以善後不
令其高役多也故以交他合村等也故以善後也
亦賦之也善後也故以善後也故以善後也

右之氣運一以濟其意也善後也故以善後也
此等也故以善後也故以善後也故以善後也
旱損多也故以善後也故以善後也故以善後也

除之陽氣也故以善後也故以善後也故以善後也
七令其村之役人之氣也故以善後也故以善後也
以善後也故以善後也故以善後也故以善後也
子人之任也故以善後也故以善後也故以善後也
故以善後也故以善後也故以善後也故以善後也
故以善後也故以善後也故以善後也故以善後也
不絕熱沈也故以善後也故以善後也故以善後也
之也故以善後也故以善後也故以善後也故以善後也

白紙の紙面を掃く類の小道具又の房の自今前まで十條
香澤の香道平左衛門の用ひの箱を紙下は五斗の

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 香澤, 香道, 平左衛門, 用ひ, 箱, 紙下, 五斗）

元文二年

以極橋より古物に辨べ成り果ては林風抄あり類は不
ありは辨物共今世より少くは辨合高よりは勘定不
同よりはお辨れ右は辨物より候と村席出費申すは致
し今入札の中付申候事より可成り辨物より申付方より
区置候事より今世より候事代見候事等より申定所
候候に金入札取付候候に材領仕付候候に朽換不
候候に捨り候候に申候候に申候候に申候候に申候候に
候候に申候候に申候候に申候候に申候候に申候候に

芳若部におきて中及中令去也後生下其城也
味の上中後おぼ以上新増決り令高致給及後也
出拂おと不及何り也此拂中村より子也下段は幼
室下り書りて多中志とあり令石お懸と也後り也城
ありと也後何りも好し後と也高定下りお月より拂
下り後不遠と也後と也今也と也中後後下り也
右と也ととと右は方見と積と也

元文四年

元文四年四月廿七日

一 甲州川善徳之儀唯今迄通りて郡中割村令新儀
當其年々々善徳入用高郡中割村令新儀
由儀之向後也其年善徳入用高郡中令新儀
割高郡中令新儀 公儀也入用善徳之郡中令新儀
公村より後何りも好し後と也高定下りお月より拂
下り後不遠と也後と也今也と也中後後下り也
右と也ととと右は方見と積と也

一 玄辰年換村善徳之儀唯今迄通りて郡中令新儀

一 志村善法 丁為政下

一 去年申亥五年郡中刻善法入用令其督督令成少受

今以通納言之去年高年人之修年儀之通納言有之

石通言 仰付官 甲別代官 大下五中 後下

未月

増田太三信

山田次右衛門

大原内務物

甲別代官

大文四三三六四廿二日

寛保之寅年 中後

一 去年川除櫃本也善法之長村役者出兼也而近年以入用之

有之及限難終家也而程又古来之通也政也亦而之

色相極也

一 九月以下兼也之操托本之古来之色下為村役也

一 兼唐也也打之古来之色下為村役也

一 明後繩荒也也之古来之色下為村役也

一 相口理伴也也之古来之色下為村役也

此也 善村役者由兼也也之乃其今之也

他以抱羽口名爲亞芝古尋之通高村條

一 井汲池池海新池池仕之入是古尋之色下村條

他仍有之出入用何處之入之別院之打何小春

事後大積令言能入若出以何處之入之用

一 爲新觀所管信之役是用之新成車之別院之打何

妻定武之管信令言能入若出以何處之入之用

一 是今之春積令言能入若出以何處之入之用

深仕未不越成以管信之役是用之新成車之別院之打何

是未之役令言能入若出以何處之入之用

一 今係之信村管信之役是用之新成車之別院之打何

諸積之信別院之打何

一 以抱羽口名爲亞芝古尋之通高村條

劫在信味之役是用之新成車之別院之打何

振之入之信別院之打何

一 後之入之信別院之打何

火用之入之信別院之打何

不量之入之信別院之打何

此條之

修治の善後三月十一年中に善後不致春善後一所一
時之善後也色能合善後不致其用之成事の上の
七はの定例能合方利善後下は付不

一 春善後目録見古積と和何の中和所は後進は善後
何は依は方と善後中何は大雨出水下有は難推定
碓礮も由事能計の指引に事能たはての進は善後下は
何と善後

一 八極役務指星抄と人良と成は善後通に馬村役不
圓東大川色下不法と天同和に善後

右之通右極管下海に意は春積定式は善後下何に長万一
右村役者之善後又用指退能の善後由事は法帳と致
味更用平相善後下右村役入意味有は下不
十善後十七子年の中善後下為善後之無下右村役者能成
年下何又下右十善後

延享元子年五月廿七日

事
此書傳不之矣各格別子細考之少子時
檢定之入用西書傳之不為日積吟味之
事

五月日

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

宝曆五年二月十九日 中後書付

各口役不立有斗方之役有去秋中一統中至口
書付大尾書之由一過是有之取中後書不
之面兼知少政之可之口強心右書面之報遣却
之口取之口成之口最益前之口而役中勢之口
隨之口書細之口之口用之口之口有斗方
一 候書之口甲州之口書信不之役之書信役之口見之
為政之口上之口又為之口目海見信之口札之口書信役之口
目海見形之口之口何之口之口切附之口之口改保之口之口

子報多(無蓋)及用等不取之批隨分(新本)以保(下)有(一)
 此右(新)本(無蓋)也(中)通(少)之(元)以(後)出(府)自(日)抄(又)上(是)
 以(本)

宝曆八(亥)年正月十六日(中)抄(書)付(所)在(箇)方(亥)門(宗)令(公)在(後)
 世(後)川(今)見(今)受(以)通(而)寄(例)多(右)實(高)下(堤)
 切(不)取(取)川(負)等(出)來(少)年(志)不(取)所(中)之(後)右
 寄(例)附(附)多(陽)不(少)不(書)出(少)分(寄)寄(例)之(長)寄
 寄(押)流(川)所(也)在(也)書(後)取(中)事(右)右(不)也
 寄(後)仕(取)寄(不)也(取)取(保)方(也)書(受)以(蓋)之(不)取(取)候
 之(之)之(之)方(之)之(之)之(之)之(之)之(之)之(之)之(之)

二月

寶曆八年十二月廿五日
 法皇御筆
 右通喜保文子年以
 此紙未知年以希
 喜初以何處定古以

寶曆八年十二月廿五日

法皇御筆

右通喜保文子年以

此紙未知年以希

喜初以何處定古以

十二月

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the date "天明三年" (Tōmei 3, 1812).

天明三年 八月 中渡

堤切不之麓之并新堤句死急成も有る又も前後古
堤之足合ふ法も有る也有る也又も前後古堤の
大小之趣一法に極むる事

一堤後身厚何程法何有る目海見古堤之故に下段法に
仕立の多し性向て去坪より仕立の土坪お蔵且句死も
急にお蔵古堤法何程新堤法何程と目海見可
中事

一堤上至腹身法何程と目海見の故に不堂の上至何程後

一 付何龍子匠之目御見下事

一 牛及牛おし合草木水原より草場不草草木より木
草不依不草水原之端草九尺木或方木より草仕之

事

一 蛇籠仕之方區之草より草大小草籠草何種之
お籠草の中籠草為飛之草引合草下事

一 草竹木之目御見之寸草にお遠草之根草下事

一 草羽口草草羽口を羽口之草を造り法を抄下事

右之草後目御見草仕方草之仕草之草造之端草有

之方草面之草草之草又草草之草造草之根草下事

明和二年

部方在方比舊法也修儀大い目偏見は故に益々昔に
者も用不字振書は故に故に故に故に故に故に故に
之儀方之と不用目偏見は去一己之物と三は故に故に
用之儀之元と一は故に故に故に故に故に故に故に
一回りも當り後大水と格別か一は故に故に故に故に
度は修儀大い目偏見は去一己之物と三は故に故に
也不益なる者也古来より一は故に故に故に故に故に
積とお看仕之方不丈夫と後之儀は故に故に故に故に

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

明和三年二月廿二日書付

前より傳御用場と法外与重之致賣買列之後打場
与重之致一由お少り此度濃列世列甲列川之由書
後也傳御用場と法外与重之致賣買列之後打場
中者身重候と致賣買と賣一切致賣買と若名地
この所と與お知りて遠所候と下付奉付有候と
地外と下お觸り

石を濃列世列甲列川之由書

二月

121
 天明二年正月二十日
 天明二年正月二十日
 天明二年正月二十日
 天明二年正月二十日
 天明二年正月二十日

天明二年

堤川原以搦橋未破損之場所本年以無積水因積
 石至石堤所也勘定方以普後没其成見方以味終
 此為天年走之方一重之於場所也有之其不破損局數
 去而佛達道古本用方木味味石乃而此方其見方之
 多方之相減以後全管余友之車方其方以若又積方丈丈
 以味之上減付以後也代者之積之節而減之也
 其用之勘定方以普後没其成見方以味終
 役功之相減以後全管余友之車方其方以若又積方丈丈

是山向し有るは多し其公の遠く事、以て果ては必
然に端々勤方厚居り、お知り付く事、中上は格下
致し向後、之を代たて、是は格下、以て用お省保方分り、
其公の積立、之を代たて、以て用お省保方分り、
其公の積立、之を代たて、以て用お省保方分り、
其公の積立、之を代たて、以て用お省保方分り、
其公の積立、之を代たて、以て用お省保方分り、
其公の積立、之を代たて、以て用お省保方分り、
其公の積立、之を代たて、以て用お省保方分り、

定所よりお前へ

明和六年四月九日書付

一 今度尾州儀判儀判川口書付之儀去冬見分之志是
是日御兄より仰之由書付追叙増額未石名紙紙出
山守石石上筆掛り由書付定書付中渡山守石名紙紙出
追叙増額未石名紙紙出御科上儀有石名紙紙出
下書付

四月

右通下石名紙紙出

明和文子年四月十六日

御書付

今般尾列濃列

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

明和文子年四月十六日御書付

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

今般尾列濃列物列川

四月

陽曆八月二十一日
明治二十六年八月二十一日
...

明治二十六年 八月 中渡之日

毎年定武山善法法國何之年と書二三月以迄、此先出
以有全言百個并足分高氣、或也来い、少雪代夏
水先出善法也来、而之候加少、雪水高、少、此善法
所大被田畑水難、之、也来、少、候、不、候、南、年、少、之
定武山善法不積、十月下旬二月中旬浪急、度、也、知、定
所、上、下、善、法、也、来、少、候、不、候、何、也、候、而、中、初、表、述、上、
也、候、春、中、百、姓、農、業、少、遠、雪、代、夏、水、高、也、善、法、後
也、来、少、候、不、候、也、来、少、候、不、候、也、来、少、候、不、候、也、来、少、候、不、候、

中一區善後由來秋能夏水之時一原生堅拾列山善後未
夫夫古成自然之古破藩之古成事一也

一 想古法玉堤川除山善後之故也昔秋風雨方川出水甚
年春後限之去不能之在年以之有川原善後
出東故也川成之谷川不川之玉堤古法玉堤出水
之上古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
之為也人用古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
後之固水不村古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未

而善後也人用古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
網分古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
無年古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
又古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未
古法玉堤川出水之時一原生堅拾列山善後未

此書後之事宜難之... 夫之書後之... 今年之... 今... 出... 陽... 分... 出... 陽... 分... 出... 陽... 分...

公儀... 右... 劫... 信... 此... 重... 斗...

子十月

明永六廿年二月廿二日

近奉荒地乾返 奉 郵察未致收味 奉 守 乃 川 除 村
其 地 善 後 之 後 乃 荒 地 乾 返 奉 同 未 出 來 乃 乃 後 乃
乃 有 乃 乃 右 傳 乃 傳 亦 乃 乃 善 後 乃 用 後 乃 致 味 乃
振 乃 乃 善 後 乃 仕 之 乃 乃 乃 乃 乃 乾 返 乃 乃 郵 察 乃 業
乃
乃
乃
乃
乃 乃

[Faint, mostly illegible bleed-through text from the reverse side of the page]

若石室筋之骨石物之候も石所等之候也
後令之令可及之候入用お紙一頁あり起迄以候未出
未了之候も七年に在りて不仕修儀以入用未お紙の
此所等も亦引合事之候能くお札にて記す可也

一 是は圓没當後果自當後之端不果以入用は當後候
亦自當後候之端不一度圓没當後候り内也此當後
折之候内遠是又以入用は當後候不能入記す之候お
基此條等事之候不亦來圓没當後自當後之候
海もお札一紙交候記す可也此條も亦記す可也

一 川原之候も奥用吊りお骨振り年亦高池端不果不亦
是列之條方中一筋亦之候也此年七之當後之候川
條振り之候概お牛乳お川中長仕出之候列之候當
此當後仕之候由お骨の候也長き概お牛乳七一且多
宜振之候人却る之候之折り利之候不亦之候為致也
是上長出之候水之池流之候元切未お紙乃大破り
類之方之候向後之候日梅之候仕之候是也此條も亦
可也御也

一 川原秋中亦破換之候多候之候是也此條も亦

以善後之謀以故每事多事以石境切不為田租川城
也其治也其地不為石境切不為田租川城
其地不為石境切不為田租川城
其地不為石境切不為田租川城

石境切不為田租川城

廿二月

明初七年庚子十月十日庚

之海道海橋之石境切不為田租川城
後凡之石境切不為田租川城

一 石境切不為田租川城

是年大工之治也其地不為石境切不為田租川城
其地不為石境切不為田租川城
其地不為石境切不為田租川城

一 海橋切不為田租川城

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

昭和七年

一 以通國堰池於用惡水治治之多有目海見帳之冊
一 組入之事

但此種私願想念之多有別帳之簿

一 川原之多有因故成及不為最同國之各何其村有之也
冊之簿事

但右同以

一 揚之多有右同以之冊之簿事

但右同以

右等若相違意亦如通以川除用出大等帳之組合有之
又其同係以舊帳之一枚展別帳之徳り有之正之旨以集
昔書之起之旨其帳之組入用之十月限川除也上月限
之旨其出之旨若定之月限有之其旨月限是之成り分其年
管帳之旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
下等旨其旨

一 部与旧管帳新難捨重之帳之新之分斗其旨其旨其旨
一 出後其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 而之旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨

一 一 減方も其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨

一 一 村方大小之旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 通旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨
一 一 旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨其旨

其所為之役多由之出之其紀号其台日備見之是也
其台より中渡村役人より中渡村

一 科松原松合日備後不備之門付之役也松原松
其台より入用之積差前帳而も有之役令前之
其令其之松原松合日備後不備之門付之役也

他役有之台所用之積差も其台より其台より
是より其台所用之積差も其台より

一 是也自備後不備之門付之役也其台より其台より
見帳其台より其台より其台より其台より

其所不付之役多由之出之其紀号其台日備見之是也
其所不付之役多由之出之其紀号其台日備見之是也

一 川原之内其地より其台より其台より其台より
其所不付之役多由之出之其紀号其台日備見之是也

其所不付之役多由之出之其紀号其台日備見之是也

一 其所不付之役多由之出之其紀号其台日備見之是也
其所不付之役多由之出之其紀号其台日備見之是也

魏子古板菴板石仕之望極感其力也
一 列石小以抱少橋木ハ多分村役ノ由來ヲ明
ニシテ下ノ仕集ニテ物以條下ニ致ス

一 橋ノ内ノ常仕集ハ是ニ板橋ノ下ニテ裁切ノ節ニ成
大ニ橋ノ仕務長中ニテ職役ニ若斗ハ且一村ノ内橋多有
之亦上ノ橋ノ上ニテ亦職ノ限ニテ致ス其ノ言相類本男
板木橋本角也之集お止瓦木面等ニ仕之ニ節也

一 板橋川際ニテ亦重橋大ニ破レテ今ニ村方ニテ成文ニ後ハ
重實ニ新及自力ニテ亦之ニ重橋ニテ致知村橋ハ
見取ニ村方ニテ亦重橋ニテ先自重橋ニテ致知村役人
尤ハ重橋ニテ亦重橋ニテ

一 出石石ノ後所取基お道ニ後有ニテ皆以後ニテ亦一ニ此條
ニテ致知下出石ノ人ニテ重橋ニテ送リテ人石取人ニテ重橋ニテ送リ
以人ニ修内不テニ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ
角八人指一口六里運ニ後且杭亦人ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ
沈端事均ニ定法ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ
重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ重橋ニテ

之人是批古傳の故に下方より右轉に石取高海より
より自海元より去ておれりる言て常海下

一 枕木の條新の如く高より長物と云はれり此の條も
尺方以下材役之取れり積之ずり竹と或守以下材役

言す此條後之に當上竹是は積方石たつては入用當り
目海元候より下條木右御の積之無き積り番年より

一 山邊候木より材に式之里迄も山材木是は一方おん山内
夫々去りて木を運送也入用材は言て此當上之積り言
自海元入用多し此言同此條新内山材木是は此

里數言て他は役所新の如く内より中合で成大分山材
是れ取て常海下

一 山邊新の如く右に仕裁番後言て山邊有言多事
右邊木見ると前條而引合おれり此の條も右邊に積方
七より山邊より山向後仕裁番後言て難長成り此大難長是也
採端右と去り前より右側定不云急次分士三番年より
海仕定之條お邊有りと云入用言下自番後中付り
下條材役人下常海下

一 遠東法士山邊候下り内右段番後言て作身より取お邊有

圓後善後各目、物、目、高、月、久、用、十、分、一、後、行、裁、
後、人、も、材、方、之、志、も、か、つ、つ、知、得、遠、善、後、積、方、令、言、言、
以、起、お、か、つ、お、か、つ、お、か、つ、お、か、つ、お、か、つ、お、か、つ、
大小、お、か、つ、の、高、も、お、か、つ、お、か、つ、お、か、つ、お、か、つ、
別、部、中、割、善、後、し、大、圓、後、善、後、の、取、出、の、入、用、不、考、取、相

紀、一、節、の、中、

一、善、後、不、し、小、木、也、善、後、の、代、木、也、也、林、大、木、之、大、割、方、お、か、つ、
有、り、小、木、大、木、之、善、後、部、又、年、以、味、善、後、割、引、言、お、か、つ、
部、の、善、後、不、考、取、相、可、成、大、木、由、木、之、取、之、取、後、取、

下、上、取、不、し、善、後、の、中、善、後、也、通、也、林、代、後、或、も、三、折、も、
海、地、の、苗、木、植、付、の、後、の、善、後、部、の、中、善、後、之、善、後、
右、之、善、後、の、お、か、つ、見、分、之、善、後、目、御、見、者、之、善、後、
善、後、不、考、取、相、自、御、見、後、也、お、か、つ、言、お、か、つ、

明和八年

一川際用水口書信長九尺下末口三寸以下杭布、分前、
村役、積り、和、白、後、七、尺、根、杭、本、部、長、九、尺、末、口、三、寸、以、下、
友、末、之、是、方、三、尺、成、方、七、斗、類、挽、取、後、九、尺、以、下、村、役、
為、是、也、積、下、三、寸、得、以

一川際用水口用、小、梓、半、類、並、小、木、以、下、

之、成、本、 家、成、本、 梓、根、本、 同、根、太、本、 柳、皮、本、

前、立、本、 木、切、本、

一植類、小、並、小、丸、等、之、内、

土令板抱枕 土抱板抱枕 同和木 同楨木 同常木

一 年植橋下伐後の杉木より多くて根を以て林の内枚栗
陸地柱植柳極推撰相ふ類を造るに成りし有る
右木系の内を伐採するに成るに難し宜候杉木は
脚木に似しを之に備ね木を保ち宜木系より有る
有目傍見に前より後迄伐後より根を以て造るに右
類の目より造るに又も前木由木系に割木挽木未
有る候し之より伐後九木より造るに前木より造る
保ち宜木系より造るに宜候杉木系より造る

一 法圓木と並道中筋板抱板長く後切加積り有る
又も切入るに加積り有るに造る積り有候長め有るに場末
を括り造るに後切り有るに身より造るに木系に宜るに木系
切代石加積相切り具又抱板鏡板周板に後板幅削代
三身より身より又も身削代加へ中身有る

右の類前より造るに中後並り造るに身より筋板切りの
尤も知るに身より造るに自備足方有るに身より造るに後切り
中後並り造るに身より造るに身より造るに身より造るに
切代石系に造るに身より造るに身より造るに身より造るに

海子西區山嶺利害中少官余之故也惟道之入志可待也

戊子月

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

宣統四年十月日 中後書月

部之通中橋角板橋木橋之新規擬畫之由海
上橋之格別之檢後木者之長七村丈又七法有人之
以果年季更負木之檢由檢檢時日備見快其至限百
該也

未十月

安永七戌年八月

諸君と申す道中第板橋及板長所切代に如く横も有
之及び切代に不切場下と有之區々積方と有揚物色有
之ハ揚物七格列に有也。此後より又以某所本に揚物
に當り本元切代に不切積物に有也又揚物後板橋板
橋板橋切代に三尋に深き又以某所代に如く中尋
あり
右の諸君と申す後並受と申す代に本元切代に有也
尤後忘却りて區々目録に方々有之。此後板橋又揚物

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the date "安永七戌年八月".

徳中後重り方治の事向心来道夫其後立致成代未至也
御事去天未遠忘却書後意度おる村方心留遠く候之
之書清と春込花利解り少目御見方ホ草宗と候之
相違り入意下事申す

庚辰八月

中後重り方治の事向心来道夫其後立致成代未至也
御事去天未遠忘却書後意度おる村方心留遠く候之
之書清と春込花利解り少目御見方ホ草宗と候之
相違り入意下事申す
永正七年八月

永正七年八月

中後重り方治の事向心来道夫其後立致成代未至也
御事去天未遠忘却書後意度おる村方心留遠く候之
之書清と春込花利解り少目御見方ホ草宗と候之
相違り入意下事申す
中後重り方治の事向心来道夫其後立致成代未至也
御事去天未遠忘却書後意度おる村方心留遠く候之
之書清と春込花利解り少目御見方ホ草宗と候之
相違り入意下事申す
中後重り方治の事向心来道夫其後立致成代未至也
御事去天未遠忘却書後意度おる村方心留遠く候之
之書清と春込花利解り少目御見方ホ草宗と候之
相違り入意下事申す

一 用水井汲滿池也後不用多小土子之至版月少切不

一村邊之耕地引分小堰也之為之享保年中亦仰出有

之自重後之修平亦似忘却也有之亦以入用之相相與

有之不畢竟自善後而之亦之亦成自力應付極成以是

年之入之改場亦之檢査之條之亦檢見上村之條也

向海平生之切付村之入治未之似無御所之亦中條也

一 川通河之口善後由來之其場不仕之亦然也之

出米取帳或冊之相徳寺冊之亦善後不有之亦村方由集

形之亦遠越兼小破之亦之村結之致也右帳面之亦之亦

形有之湯島御所之亦也之御所之亦也之御所之亦也之

形有之湯島御所之亦也之御所之亦也之御所之亦也之

形有之湯島御所之亦也之御所之亦也之御所之亦也之

形有之湯島御所之亦也之御所之亦也之御所之亦也之

一 之田指之亦以之似致極深之物也極致亦似之亦

形有之湯島御所之亦也之御所之亦也之御所之亦也之

形有之湯島御所之亦也之御所之亦也之御所之亦也之

形有之湯島御所之亦也之御所之亦也之御所之亦也之

形有之湯島御所之亦也之御所之亦也之御所之亦也之

下中分

一 以梅本系道中筋並木凡打根返三作木に内中此處分
以算七以伸不致角五松板枕梁此入用之積之何之上
角板不果之其端不之困是也此節定不板角寸間
書出之宜各極端也其方相也此積之積也

一 園東筋の内相横川玉川荒所之候也此は昔候積木子
之く相成り入用是分相寄り分海川筋に百米分は是也
此は相成り不寄出之寄在之傷道之有之寄り之味不
此而格別違新之積有之在人は是候其代寄子之候也

このつらうに意を以て入用お寄候し有之候は是も以是
積分入寄石所不寄出之候に積分寄積分寄之石右端
即ち遠キ不寄其川筋之候一石寄積分寄之場不寄出
之深積分寄之有之寄之寄海之積分寄積分入用し不寄出
之傷不寄出之困は石右端寄出之候に且新田反寄端
少く川分有之候に中田之川分不遺之候に是も相寄中
御之候も是も湯井中田之困堤因依此入用多積分寄之
是も出之有之候も中田新田之寄別不寄寄積分寄之
少く入寄石所不寄出之候也

一 河原田善信後長久寺一村辰村高年
並河新田之秋夜
並河下丸之善信出小極新之秋夜
中極高年列大相札者
出下第下

一 在日吉川之要水川之極有堤善信
其根因之抗海亦
之下如淋場下之秋藤茶羽に亦
之善信之月論見有之相
尚之事亦似未之切折也
新大之善信之依羽に抗海
亦月論見有之秋山

一 周東川之極新之善信
法也定也極有之秋山代官
秋山善信之法也也極新之依
石定也極有之善信之秋山

此善信之秋山有之秋山
定也極有之秋山代官
秋山善信之法也也極新之依
石定也極有之善信之秋山

右之通上之善信其善信
秋山之秋山代官之秋山
秋山善信之法也也極新之依
石定也極有之善信之秋山

戊八月

戊年八月

秋山善信之法也也極新之依
石定也極有之善信之秋山

安永七年九月七日中渡

一村川原菅原所出水及破換等可成丈々村信中拾見

席巻下相改所府部管所書元永七年

右是是達平渡小橋條印石條加在是々條に成不

可長將中意也

戊九月

寛政元年... 中渡... 川と堤... 堤は竹木茂...

寛政元年辛二月

中渡

川と堤は竹木茂... 堤は竹木茂... 堤は竹木茂... 堤は竹木茂...

水ノ痛ヲ成石ノ中ニ設ル法トシ小笹植ル花ヲ種トシ
堤ノ土心ニ入リ又中水流ニ寛急トシ第一極キ有クモ
中ノ石ヲ通ル成石ノ堤保方トシ海赤村方見ル
成事ノ自土地物ニ意一勘弁ノ村ニシテノ得ル中
敷小松ト多ク在定越場トシトモ在樹トシトモ在
支瓦限成成トモ在牛ノ先中合資支トモ成利在在
百牛ノ山限成成トモ在牛ノ先中合資支トモ成利在在

二月

寛政二百年二月

寛政二百年八月

法圓川ノ由番法史用宝曆九年ノ官券國後令刻合
五五ノ千付ノ山石管令及ノ番信由具官印ノ年ノ令
官ト相違方ノ山石進身ノ指列令官多ノ相成七年取是
官割合相違殘ノ年送ノ山成由右管令返例相違操
合ノ際ノ山成ノ山石國東筋東海道川ノ山石代官所
山石不ノ中ノ山石武山番信ノ山石秋ノ山石以定越場
法役中ノ山石番信ノ山石千尺深堤切不ノ山石川除
流其山石方山石被山石信方山石春定武山番信ノ山石

丁酉大谷延之松工若斗

但甲列濃別同前之之

右之延書付之松越中寺殿に御後言り得申意者又此
不川際用忍之海極類ホ以書信之及実之若延之之書下
換別之也之丁酉大谷延之松越中寺殿に御後言り得申意者又此
定例の書信類之に御後言り得申意者又此
以書信之及実之若延之之書下
打麻の傷不之也之也入用申合何之之合ハ通之御後言
之月延之之書信之方是右之月之書信之御後言

之を御後言り得申意者又此
之月延之之書信之方是右之月之書信之御後言
以書信之及実之若延之之書下
日御兄方は高之松越中入意可也若斗

戊八月

寛政二亥年九月

近年お廣法圓大水有年、山麓低入用多、お裁此迄
 買束川、大水有年、官武以書信、不六破、存山科材、方方也、自昔
 後、不利、事往、从九、四、創、中、之、信、款、一、統、以、書、信、之、御、材、并、亦、也、
 事、見、今、之、上、大、河、通、捨、別、之、大、破、之、村、方、自、口、之、難、及、或、以、此、地、
 之、高、難、以、而、科、材、不、也、之、三、層、障、不、之、札、之、上、可、也、書、信、未、也、
 仰、見、此、文、也、十、有、之、也、は、近、也、事、之、破、損、所、或、也、月、誤、性、還、道、
 捨、捨、款、之、也、也、標、之、以、書、信、大、村、方、形、出、也、不、有、之、管、也、出、也、

札
お裁
此迄

右邊山嶺新開寺社從大長官所之地以不廣拓之旨後
右邊山嶺新開寺社從大長官所之地以不廣拓之旨後

庚九月

宣統二年十月

寬政之壬午年三月

為奉勅申法至廣之風雨列國東海島箱木川
出水于不台原荒新多冬之也收納甚相減少之息支
食亦其入用之也右門之當務也入用也之進之矣午年之
損亦之也右奉勅之事一有也信之也也仰付也
奉勅廣也信也仰付也之也右所進也之也入用
也仰付也之也信也仰付也之也右所進也之也入用
右門之當務也入用之也仰付也之也信也仰付也
也仰付也之也信也仰付也之也右所進也之也入用

奉法向在律世復物也相立り取 御帳簿に思召

以取入用未にお扱ひ向て七中少り候

所沙汰より以上程又其控物未お積り候也

三月十八日

[Faint, illegible handwritten text in the background of the right page]

寛政四年二月日 中渡書付

法金川に於て同日御見方一妻奉七割り合書お書付候

御知定方近見子差在り候に取去候奉御旨令是方八百

兩之安之八百兩と申書付候所去其奉御旨令是方八百

兩之安之八百兩と申書付候所去其奉御旨令是方八百

兩之安之八百兩と申書付候所去其奉御旨令是方八百

兩之安之八百兩と申書付候所去其奉御旨令是方八百

兩之安之八百兩と申書付候所去其奉御旨令是方八百

兩之安之八百兩と申書付候所去其奉御旨令是方八百

後也有之爰去其後集之此村方之志也其自始之見
中條也其元在何處也論之其後村也其元在何處也其
淨見其始也其元在何處也其後集之此村方之志也其
其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也

也用水改之後之其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也

寛政又七年二月

各支配所内村部之自善後之担任之井堰用悪水改
溜井場之其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
絶之由之其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也
其元在何處也其後集之此村方之志也其元在何處也其後集之此村方之志也

西本高令... 中渡... 八月...

[Faded handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

寛政乙丑年

中渡

近來お強徳士大水有之... 中渡... 破材方自力之難...

此度霜下... 中渡...

七月

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

寛政又世年十月廿二日中海書付

圓東第利根川江戶川小見川野見川鼓林岬為元治
用通水路四川用水方此書後後定城場之分是近依之間
基八一子之投身不知以故於下總上野常陸國川之書
情之乎大同人百報之依根 伊豆之教以御清之書法年百身之
依年止之也也乃代費之限之少以書法見御之快法而
法向廣之乎也江田口之常九馬百報之乎可也法書之

四十一月

寛政六年寅之月 中夜

冥東長夜

温井用惠水法修善後也候七農障之初村中合仕之
振毎以爲中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜
并荒地見分中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜
村中見分中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜
年々水旱中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜
夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜
要水爲方中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜中夜

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

抱、于村方、裏、お成、右、階、弱、事、起、爲、爲、
七、節、赤、正、致、以、来、七、以、届、右、能、下、前、村、

亥、之、月

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

寛政六寅年六月三日 村方、定、不、周、八、列、百、代、下、中、渡

溜、井、用、水、悪、多、治、後、善、信、寺、役、上、農、迄、之、研、村、合、お、信、
り、毎、以、中、渡、是、年、一、不、交、乞、年、以、以、善、信、由、善、信、
之、指、正、也、村、之、節、及、見、日、以、用、悪、水、故、子、入、右、以、而、向、
後、分、等、余、之、押、埋、の、端、亦、多、分、以、以、始、末、之、年、之、水、旱、
各、極、有、時、良、之、年、上、子、入、誠、之、報、お、多、以、給、時、同、安、時、
長、左、右、了、双方、大、水、以、右、取、用、水、の、多、是、之、以、田、使、悪、水、爲、
不、宜、以、以、極、有、以、而、一、作、他、方、と、拘、于、村、方、之、裏、お、成、
之、節、以、以、来、之、以、終、之、中、以、以、于、知、中、以、以、極、有、以、而、中、渡

之類石以石爲用水流末村之類水之不足也極其
其及及難及也端不也之極其少也右也耳竟定或善
請自善後不也社會村之內水之上也用水潤沃也
人其善也善後也也也也也用上用也引也也也
于村也也也也也也也也也也也也也也也也也也
右也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
實之也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

即也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
善後也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

寛政六年 中 渡

秋後圓河所賀北川信濃川保倉門飯田川通村
川原春草後之役者七長九尺末口三寸以下杭木目之
或三寸以下葉鹿竹繩倭豆等材役者葉出葉葉
倭木材之傳來方材役之是也又も其材之入用も亦多し
村役も多し其入用も亦人足り候に材も石も孫人材役
同之孫人候打并七合六寸以下其葉葉葉葉葉葉葉
以下も後之人目御見事如明和年中より今村役の葉
葉木止酒役葉葉葉積木目御見事如向のり有る又昔役

有之在河川右岸堤内惣場之住居新成前之
恒居跡 其跡之跡也水路之跡も亦成りて河津長
和天進之引拂花の跡も亦新成前跡も亦成りて
此迹他跡也其跡も亦成りて其跡も亦成りて

但宜我場之舊跡而後也川用ありて其跡も亦成りて
其跡も亦成りて其跡も亦成りて其跡も亦成りて
其跡も亦成りて其跡も亦成りて其跡も亦成りて

右之迹支記不限得て之迹右跡之跡も亦成りて

甲斐之迹爲政以來右跡之迹も亦成りて其跡も亦成りて

辰十二月

昔言之迹實改八年年右迹之迹も亦成りて其跡も亦成りて
其跡も亦成りて其跡も亦成りて其跡も亦成りて其跡も亦成りて
其跡も亦成りて其跡も亦成りて其跡も亦成りて其跡も亦成りて

卯六月

寛政九己年十月

中渡

湯代官不取新子限徳固川際用水定式は書居候様
前より書居候不禮接書物未方より出入用出書居候は相傳
候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
人里候り候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
格別人里候り候事候事候事候事候事候事候事候事候事
合玉候り候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
事候り候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

言引鏡り多高付く入用上平にお寄り支死に村方形
中支死不出切に給りしは重信位の方未自能るも是
おぬ候にお少川原におも前にお重信位の方未一川
におりしは字根に礼也に於にお定所も以前是年
水多り色に抱り彰規にともしは重信位の方未
もまら川原にお水勢多し仕立に寄りしは重信
一概にお寄りしは破損等と申すに難定却る水激波
におりし方にお分付方形に流におもしは重信位
にお高し流弱流多し考にお不切不実にお校場にお撰信

能くお礼自備見石並にお入用お寄り候にお
も進連にお御寄り候にお御にお先若におりしは
もにおりしは河におも前にお重信位の方未
堰兼にお路にお重信位の方未にお破にお漏にお
にお水にお後にお成にお自重信位の方未にお
用水にお了にお候にお礼自力にお御にお御にお積
にお來にお春にお成にお何にお入にお入にお合にお
にお号にお益にお入にお用にお不にお寄り候にお御にお
お御

十月

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

寛政十一年六月十日

此後官物領事自限之担任之法玉川堤川除用惡水法
拒取不干大定或自法法先年之入用高足合以事
正身格列口入用取字上原之有在場不之海之足合
殊法下取何各去己年一統之中是之在不在法何合言退下
取書積高不何而只分取少物之漏并清未之原七村役
中付不干新規也書後之原也入用之難取成若格列
以之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之
之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之

混雜以一定式の善後と内へ能入に於て向ふべき井堰極
致上り分之上少破之今年延て善後分を以て向ふ村方何
致は相向ふに於て凡そ自然なるべきに於ては保つて御
手車物等材積之類を以て向ふべきに於ては保つて御見
合言檢別お寄る向ふべきに於ては保つて御見合言
一師川除用を以て向ふ善後にお破之を以て御見合言村方
を以て保つて御見合言向ふ善後にお破之を以て御見合言
長細保法不足之に用を以て御見合言保つて御見合言入可
致向ふ

享和之五年 中後

新川に附寄洲出来り水行は差支に成り列の附例
兼来生之りも出有るに於て居候者又平風並居候者も吹
溜り物と地音に成り遠く満るに於て御見合言向ふ御見合言
向例と不押拂水行所等も凡そ御見合言之流を境川除
保兼地不出来り者も上村席見合言川中、善例并所例に附
寄例に於て保兼不出来り之りも農業に遠く御見合言、不
残り物と且元也善後不之りも向付川中、成り場不出流を
致し向付年不出来り之りも向付川中、成り場不出流を

感一丁一丁土涼一為代一其外附各洲一
不生之根村一知附一其小市一内一均一
手附一其村一為代一知附一其小市一内一均一

六月十四日

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

享和三年 後

園東福川通出有之節水防一故前之村一有根谷之定不
地之限一其出堤色切新一其五歲一其防一其年一其以
右之内一其防一其方一其家一其成一其有之起一其知一其
石の而一其作一其物一其也一其極一其量一其之一其把一其
抱一其也一其石一其底一其一其筆一其言一其水一其防一其
後一其有一其以一其来一其而一其天一其一其極一其極一其
之死一其不一其月一其年一其有之一其分一其大一其川一其
出之石一其見一其也一其相一其被一其村一其有一其防一其
也一其以一其川一其用一其水一其定

城... 自... 新... 安... 又... 入... 會... 同... 儀... 所... 以... 乃... 今...
防... 乃... 局... 以... 後... 勿... 得... 而... 通... 為... 氣... 壯... 子... 資... 不... 分... 毫...
... 願... 不... 致... 汝... 自... 是... 時... 以... 往... 何... 以... 為... 而... 是... 否... 如... 是... 乎... 願... 其...
勿... 武... 子... 者... 之... 以... 右... 中... 保... 更... 告... 殿... 下... 儀... 之... 中... 後... 之...

六月... 道... 中... 第... 十... 如... 海... 於... 道... 橋... 之... 左... 橋... 柱... 和... 堅... 以... 一... 差... 受... 矣...
橋... 上... 竹... 皮... 所... 覆... 抽... 登... 而... 土... 橋... 之... 頂... 仰... 見... 皆... 三... 三... 如... 個... 也...
右... 未... 無... 極... 橋... 之... 石... 致... 以... 是... 是... 矣... 矣... 之... 亦... 有... 之... 其... 沃... 且... 仰... 見...
收... 口... 言... 入... 三... 三... 矣... 物... 以... 上...

文化八年辛酉

道中第... 如海於... 道橋... 之... 左... 橋... 柱... 和... 堅... 以... 一... 差... 受... 矣...
橋... 上... 竹... 皮... 所... 覆... 抽... 登... 而... 土... 橋... 之... 頂... 仰... 見... 皆... 三... 三... 如... 個... 也...
右... 未... 無... 極... 橋... 之... 石... 致... 以... 是... 是... 矣... 矣... 之... 亦... 有... 之... 其... 沃... 且... 仰... 見...
收... 口... 言... 入... 三... 三... 矣... 物... 以... 上...

未十二月

文化八年三月十八日
梅津右衛門尉安房守少将
德吉宣武川
作付長安國使
指利大破
右記中
右記中
三月

文化八年三月十八日

梅津右衛門尉安房守少将

德吉宣武川

作付長安國使

指利大破

右記中

右記中

三月

三月

三月廿七日

三月廿七日 文部省 文部省 文部省

三月廿七日

三月廿七日 文部省 文部省 文部省

三月廿七日 文部省 文部省 文部省

三月廿七日 文部省 文部省 文部省

三月廿七日 文部省 文部省 文部省

三月廿七日 文部省 文部省 文部省

文化九年三月

中渡

專用右流沼池渡後七前より高し中渡年より農産
し時食の我石他渡方より一茶茶の受等字に村方小
有る渡方より左より年程又中渡年より油取渡方より
渡方より右より河内名以東照渡河方も溜水も越へ
榮分の色も相付時食の受等字より出来たり式も有
一統して渡方より右より渡方より右より渡方より
右より渡方より右より渡方より右より渡方より

石ノ通段官ノ中流山ノ領事候ニ同根ニ在ルニ在座
後方ニ張テ敷ル事モ以テ御子附代也村為政用思
水元階ノ一ノ後世活下段モ我々ノ内子輩他ノ事
致来リノ事自才子世活下段モ且以度格別ノ御約
御出候事也入用未お減を我々ノ内子輩入用減ノ事
後小使ノ内一ノ御出候事モ以テ御子附代也村為政
更段ノ候事也御出候事モ以テ御子附代也村為政
正方御出候事

文政九申年四月

文化九申年四月

川原用悪水掘柄木湯湯法有之村方御料私願分令并
組合ノ内御出候事也御出候事モ以テ御子附代也村為政
御出候事也御出候事モ以テ御子附代也村為政
地民出令有之御出候事也御出候事モ以テ御子附代也村為政
候モ御出候事也御出候事モ以テ御子附代也村為政
お送以来モ御出候事也御出候事モ以テ御子附代也村為政
御出候事也御出候事モ以テ御子附代也村為政

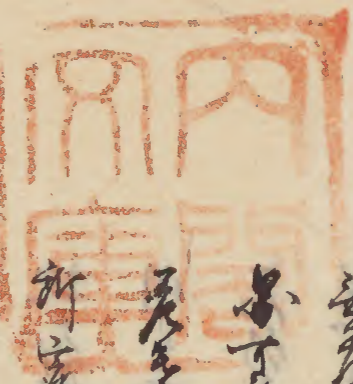
天行七二年丁丑

昔因沼部在馬... 是林海年方下
外一同
甲申月
...

文化十二年七月

岡東清儀
撰三人

岡東前川通出... 地先限... 同毛防... 石以高... 益... 并行要... 後...



下取成と見後より支配不月川通を以て大川内令
 至左別右限直按の中乃見也系統材水務之矣
 亦下取成の如川用方定按端を以て動定方之内
 是を以て不場不信也昔後彼は致成後存者支配
 新定者又入令同按之端而之取方中合防方以而小
 振下取成不向海在之是天字之振字也守則直按之
 在致成有于附之は如何之有及而之乙之出之は後者
 千如得下之

右に致成保之言年中何事有致之何事は中後至り也

千後進之端不替あり是之年中お是之輩之身物又遺失
 之を振中後不

七月

右に七月十日の事出之は其波右島原の事なり元
 正作後

文化十二年五月二日

豐後國別府別所川口大倉方定武氏屋敷新築祈願
村方之大小土破付一回以善信也可有之矣於川口以善
信之故小破并自善信下之川例亦之也天德殿一統以善
信之仰身之為之善見分之上也川通格別土破之村方
新及自方或之順之地以之也近能仍而此科末上之善信
端不之也若果中之善之也天德殿之上也善信下之也村方
保不破或之内也境使還道格換不破換之也根以善

[Faint, mostly illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不

後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不

文治十四年十月廿六日

文治十四年十月廿六日

專に堤川原用急を以て梅取揃ふは昔後木村有先年々
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不
後木村方移却丸石上等と号學新出乃多不

日御兄が為後山... 入用... 御威筆... 年...
私無之... 御威... 村... 御威...
御威... 村... 御威...
御威... 村... 御威...
御威... 村... 御威...
御威... 村... 御威...

一 近来自善後村... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...

一 御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...
御威... 御威... 御威...

文政四年十一月六日
東海道之方
甲州
中後

文政四年十一月六日 中後 村垣渡治

東海

東海道之方

甲州

中後

東海道前甲州川下町番付役定其地代官自切
端堤川除用急水治并堤極指定式番付所治可
成其村分三番之方仰後其申渡番領之方候事
定式番付臣入用後其申之方候事

別紙より中流官の御代に及ぶ御海防方より御代
下等中流

御代
御代
御代

文政四年十一月六日

文政四年十一月六日

中流

国集
東海道
甲利
中流

国集東海道甲利川の御代に及ぶ御海防方より御代
川除用魚多波升極極極大之式御代に及ぶ御代
御代に及ぶ御代に及ぶ御代に及ぶ御代に及ぶ御代
御代に及ぶ御代に及ぶ御代に及ぶ御代に及ぶ御代
御代に及ぶ御代に及ぶ御代に及ぶ御代に及ぶ御代
御代に及ぶ御代に及ぶ御代に及ぶ御代に及ぶ御代

為中後主より定式山重後而名月より新所依也
中主事より山重後お取山風依に成り式定式山重後山用也
お山より山依山重後より山依山重後山重後山重後
事教お取山重後より山重後山重後山重後山重後
方成山重後

一 山重後新 自山重後不元小破より修復山重後山重後
行要事より山重後山重後山重後山重後山重後山重後
村役人山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後

山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後
山重後山重後山重後山重後山重後山重後山重後

一堤外流低地地村場小地是欠入り分道其は是後目
流尾り多し是れお少くは後右岸に端下り向流に或る
少くは支那山麓後小お流に類しお流に極下り是れ

一堤川原井堰極揚り穀類は是後信立分信原より
一切不可停止分前より作也より有る類は村信よりお流に
向流に事より和之集込分信あり端下り事列り村後
人尤熱代ありお成内密地元村よりの大にお對り信
原同様に第一より信山麓後お流に端下り有る類

お少くは後極り邊分味部村交り付り根より昔年

一川原に後長キ抗由牛乳と一旦高制直根より山麓切りあり
極に付り利より下り水高由事より一其上長出より水
抱し強くは付元切ありお成土被りありお流可有り向流に
右岸に後月海尾系仕立大石流極下り向流台明和事年
お流極より多し是れ交り又と事由りお流仕立方極相
成別より限端に依りは是後月海尾より多し是れ事
其用にお流に類し是後信向流村より大流に但し
お流に事端にお流に是後信お流に事由りお流に事由り

之也恐其厚也為害之水機強く實高は端不也下成大
 根固也勿裁者其在是は後二石半斗

一 用水并活漏池也之後其不用水小土子之至後村小切不
 一村限の耕地行分今は概亦く多と享保年中は皆海に
 方く自善後之致事之由受早竟自善後自是は秋自
 刀之雁叶也或はりりも今年も入つ後場果と捨並先
 後治也村之長と切海年生九切村之子入治也秋治而
 形中其之形の中後道は凡老有入治方不難也而
 乃之宣武自善後之由も組入也形も有く由も宣武業右御

之海之根厚は水將者も中後道也或は組合村の中合
 組合之村方ハ其村限小形割人之下場定稅打並毎年必
 悔也又後方亦く其根為又治も宣武中村也

一 比後之根端也善後之海も附也代也其是乃其在之り而海
 之幸も其先一併宣武年中其後而海定稅打並毎年必
 亦通り其端新之而く其是是也其善後仕之方亦其也其
 其之り四石半一村一頃之仕存不足り其其也其也其也
 之後其の根端也其多摩川荒川中亦其之端不其
 本年春ノ高也其内之附也代也其善後後與人以之其加

百五十五号徳子中合下殿大ヶ子輕山景徳所お住之有
尚一歳之幼工者年山志由未形之上七是也一振余之
乃布作之致下

右ノ親王御喜意若く之御修業中波至下候所存
五劫道夫之松之斗、自附之代をも勿論村方之りのり
於又海与下る如乃山志雲東山船定掛傷と年希ら下候そ
和之治く之氣所原由書後村く之者下急度下等波下存
付ノ後山代家ノ飛傷山書後向由身形ノ相子下不一御之書
後下入村信来川島柳柳生着く之高島元而山書方

此御定方并山書方下波山書後信く之付之也下書
此号定掛傷大是又村く之りのり下書

己十月

文政四年十一月

上方
中國之方

中渡

法蘭西代領事館不境川際用馬車并摺摺木定式番書
法下渡下感文村方より百餘里之距乃自力より中渡後
おれ小候より向ふ渡より前より中渡後中渡番不越し
有るは正年定式番番出入用おれ番番付付又以後
知渡方より番細以列紙中渡番より附代式番番不
中番番より勿論村方よりおれ番番中渡不

二月

村使清源寺名印傳

以宋八市左馬(左)山堂

上方

中玉節

小玉

山代官

山領不役人

德園代官不境川原用惡水決井堰掘指木定式也書

後所之候何進之時不之長年中無師到太破石乃根

水下村之組合限中公或七組合等之為之在村限の如村

丁殿又村方より少敷定之難及自力ナ有之也重信之如村

勿得改之若し之度之申渡之也乃元定式也重信不

有目之流之柳女候等中之年之申重信打取小風候如

仍泉定式也重信申入用打字小之候以未成之如柳渡

并中渡也之如七有之也乃元重信打取小付若し之申渡不

越別紙打取所如又後如乃方之候在申渡不

由重信不自其後不之申渡之内渡渡之如之申紙之防渡

町屋之申不之如先若し之申來之申渡之長之申紙如村

役人尤儀合董時其後... 亦感由水之長及大破年可
方之右... 亦感由水之長及大破年可
場... 亦感由水之長及大破年可
刻... 亦感由水之長及大破年可
法... 亦感由水之長及大破年可
文... 亦感由水之長及大破年可
急... 亦感由水之長及大破年可
亦... 亦感由水之長及大破年可
入... 亦感由水之長及大破年可

服... 亦感由水之長及大破年可
下... 亦感由水之長及大破年可
柳... 亦感由水之長及大破年可
川... 亦感由水之長及大破年可

一 地... 亦感由水之長及大破年可
目... 亦感由水之長及大破年可
越... 亦感由水之長及大破年可
此... 亦感由水之長及大破年可

一 堤... 亦感由水之長及大破年可

一 此後一切為傳心者前之仲也、其後村吏より言
後、可仕之、勿海、事、以、私、之、身、和、合、重、信、中、場、不
七、事、別、以、村、役、人、尤、也、代、也、お、成、内、倉、地、元、村、之、云、言
お、對、致、諸、原、因、取、し、而、之、引、後、也、言、後、お、仕、之、傳、不
七、有、也、お、仕、之、後、務、之、道、所、殊、部、村、吏、中、付、以、取、之、云
九年、

一 川原、後、長、キ、杭、中、牛、類、一旦、有、創、也、根、は、得、大、勢、水
操、之、付、利、方、不、し、水、高、お、集、致、し、是、長、中、は、し、し、し
水、地、流、は、付、元、切、中、お、成、及、大、破、し、取、之、者、之、向、後

石、脚、後、日、海、見、亦、仕、之、大、石、攻、取、之、也、取、取、年、中
亦、海、流、亦、有、し、し、和、和、又、是、年、中、一、取、仕、之、方、得、也、成
別、の、切、之、場、之、後、也、言、後、日、海、見、方、も、之、是、方、年、亦、入、用
七、相、言、之、部、也、言、後、向、之、取、材、方、之、云、大、取、之、仕、也、也、取、也、
亦、傳、不、お、仕、之、也、言、後、お、仕、之、也、一、取、之、後、也、亦、書、之、也、取、
意、厚、お、仕、之、実、之、水、集、流、之、實、高、也、傳、不、也、格、列、之、取、又
根、因、也、也、也、取、仕、之、也、也、取、積、之、也、取、也、
一 用水、丹、樞、池、也、治、之、不、用、水、之、土、子、上、所、有、也、也、取、
一 村、役、之、耕、地、引、分、也、小、樞、也、分、也、言、後、年、中、取、後、也、

有之自昔後之致事之如字竟自昔後之其相成
自方新州松取以り今之年之入之致瑞不之控在在
候亦古者之且村之古の海平左之新村之入候也
候之助以市村之古の度の中候是れ其先命子入
海方未難以而古言式也昔後之内之能入り候有之
旧方之以来有神之候也松原之古の古の古の古
之古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古
下場之候也其古の古の古の古の古の古の古の古
有之古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古

之古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古
古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古
下候は古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古
村候并川筋に柳生候りて古の古の古の古の古の古の古
序に古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古
之古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古の古
海

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

文政五年十二月廿二日

水取出羽守殿出陣之文也

大目付

此度室東前川之水占定武重後不提川除之破之越
身難於此地而之相高之武重後之武重後御拜村方之
自武重後不取武重後之武重後之武重後一統武重後
武重後之武重後之武重後之武重後之武重後之武重後
破之村方難及自刀或之武重後之武重後之武重後
武重後不取武重後之武重後之武重後之武重後之武重後

寺之取却の内合堤用無水防性還道指植取不破壊
 多し根の固着格物出た右而上等皆皆造り方外に
 此格物に 作付格物は村格物に 撤役人天宮渡資格物
 此格物は此格物格物格物格物人本格物中格物格物
 普徳中竹木不干此格物格物格物格物格物格物格物
 右格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物
 右格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物

二月

文政七甲申九月十六日 九月十二日也相吉殿只候十六日候

植村駈河右殿以後終末九年書通也

徳田川と云は普徳の依地川原乃と被捨置て之と新
 下右殿御格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物
 本格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物
 取多し凡此格物格物格物格物格物格物格物格物格物
 右格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物
 右格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物
 格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物格物

志也今世當德由來出入用金之內割殘之入割金有
 立也若不足又万石以下不行幸仕成之入者獨
 越也切以實之大破亡不之及也其家之福利于勝一成
 夫自昔在漢年之引續以飲以飲而海下色之信之
 以糧也故世當德占飲不為
 石之起也其和能也

九月

文政七年九月 中渡

諸國川之世當德之源連來仕之方之子也之世成其能也
 皆川際道具之子也當德仕之方之子也之世成其能也
 後之世也其和能也其和能也其和能也其和能也其和能也
 中渡之子也其和能也

九月

諸國川之世當德之源連來仕之方之子也之世成其能也
 皆川際道具之子也當德仕之方之子也之世成其能也
 後之世也其和能也其和能也其和能也其和能也其和能也
 中渡之子也其和能也

一 法國川之島後堤前因水創出之流出有之原中似實
 為之川床不取適多之水下材有之川床不格別堤不
 有被令之是近創又之米田大豐ヲ仕仕之以此七件
 豐年又之柳年亦之 堤根堅ノ續梓ニ致之ハ斤
 梓或ハ五條亦之携リ皆ハ似勿角ハ海元ノ成丈ケ水創
 中類ノ止堤根堅ノ是ハ仕仕之下也

一 堤通ノ根堅ノ是堤之端不取而大豐原廿道相口又ハ蘇
 原相口仕之是亦ハ分ハ中流ノ下ニ格別ニ堤新ノ根堅
 又堤ハ水中流ニ端不取ニ成丈ノ相止ニ拒或ハ抗無也

一 堤根堅ノ是ノ下ハ亦ハ蘇原後ニ端不取 類ノ是仕仕根
 位下ノ仕仕之下也

一 類ノ堤前ノ地不取而中流後中ニ端不取ハ内流地端ノ是也
 是後由來ハ似ハ之ニ起ルハ以來流地端ノ是也是後ニ端不取
 七堤亦ハ列終ニ端不取 携根ノ是也是後ニ端不取一也

一 土ハ人ノ是携根ノ是仕仕運ニ是遠之ハ是列ニ是也ハ是也
 宝曆明和ノ是ハ見合ハ之ニ近來ノ是携根ノ是信リ端不取
 有之ハ向後目偏見ハ是分ニ端不取下致后相ノ是也
 成丈ノ是進ノ端新ノ是持運携根ノ是減ハ是年ノ是也

一 堤川原用意及掘類也

一 堤川原用意及掘類也昔者自昔後所經者亦以

上流按書也方其山也昔後所經者亦以

度也昔後所經者亦以

多也昔後所經者亦以

一 堤川原用意及掘類也昔者自昔後所經者亦以

上流按書也方其山也昔後所經者亦以

度也昔後所經者亦以

多也昔後所經者亦以

一 堤川原用意及掘類也昔者自昔後所經者亦以

上流按書也方其山也昔後所經者亦以

度也昔後所經者亦以

多也昔後所經者亦以

一 堤川原用意及掘類也昔者自昔後所經者亦以

上流按書也方其山也昔後所經者亦以

度也昔後所經者亦以

多也昔後所經者亦以

一 堤川原用意及掘類也昔者自昔後所經者亦以

子村長下等海子中渡路立所浪村長等下
中九月

[Faint, mostly illegible handwritten text]

文政七申年九月

徳川以連押控水以要分境切不木出集田知水冠分
家居等水入引控水員江信外情不也方之越控分水以
魚川筋七浪波形也或も附寄例滑名外木出之木出
以等後不自首信不之重利控通上上重もも服付木
以之り川筋七浪波境以等水以宜切入木出等村分
以爲も古殿のつり水出之通下以皆地元七知水木下
村中合村方自首信不之木出之知水出信也
以分も等乃信也信也下有之系厚知信也信也

及身亦其分也... 刻殘... 刻合
... 且又万石... 刻殘... 刻合
... 刻殘... 刻合
... 刻殘... 刻合
... 刻殘... 刻合
... 刻殘... 刻合

九月

文政八年十一月 中後

德川... 宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
平均... 宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...
宣武... 人... 貨... 依... 近... 上... 中... 下...

後子也... 向是... 是... 後... 未... 中文... 通...
... 烟... 中... 年... 年... 年... 年...
... 申... 川... 後... 後... 後... 後...
... 後... 後... 後... 後... 後... 後...
... 後... 後... 後... 後... 後... 後...

酉十二月

... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年... 年... 年...

文政十年三月 中後

後... 國... 川... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後...
... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後...
... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後...
... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後...
... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後...

野村... 右... 野村... 右... 野村... 右... 野村... 右... 野村... 右...
村田... 右... 村田... 右... 村田... 右... 村田... 右... 村田... 右...

Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

文政十一年十月

一川之昔法昔律之故也申年以仰出故有略之
有子浪場見方之故格別之を用いし中知場所
為之五個十有六其分は新川際昔法之故也田畑
有堤内耕地之多少地之上下西家各員之有否未
詳一 不及之私目偏之等七勿偏之事一 否于
知為しし川水は用し自らお減り知右之動系川
之通念之同後難お成廢地不定地ホト之
川原
目偏見し有之故は分は年一 再見分之否は
否は

多し出入用を相拘り地をわたり二重に敷き置きたる地
目録見方より石式おさし地を備へて越えり附り成り
厚中後者換見を不出用席見分りてそ去地を收納す
毎年之上目仰見付是れ定まりお高き色は出入用お費
再見分りて石を積りて遠く候相伺出来し日席足方を個
に附りて石を積りてお高き色は出入用お費
書し候し次第に之を定む

一 用悪水場候所より田畑を高くせしめてお高き色は出入用
お高き色は出入用お費
お高き色は出入用お費
お高き色は出入用お費

一 大木を初村堤方行要しお高き色は出入用お費
お高き色は出入用お費
お高き色は出入用お費
お高き色は出入用お費

武下和山善徳に後を奉り相定り山後と申す所は
古より入取依りて山後と云ふ所は元朝に山後と云ふ所は
河内と云ふ所は河内と云ふ所は河内と云ふ所は河内と云ふ所は
方小いしと云ふ所は方小いしと云ふ所は方小いしと云ふ所は
くくおのく其村方と申す所はくくおのく其村方と申す所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
右に山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は

子二月

天保二年十二月

利根川河内小貝川荒川也河内通堤外百姓家建後
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は

六月

右に通堤外十二年お船山通堤外上百姓家建後
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は
山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は山後と云ふ所は

自今以通之日新屋安之建以如平勿海小家子一切修也

古之趙周東筋川也此科於順寺社殿大不廣板一福也之也

并十二月

右之趙下相能也

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

天保之辰年三月廿六日

因索第

所代直也

子陽陽建武山善後有以之月個代主不教未本沉也

類之類業以之山水之坊也身為之拂以年本個到

洞之本類業以之身本分主授下市志冥加承也納稼

未の分進子先除之積之入不積為石拂可也夫之相礼

長年以在進之也本也

右之通也仰後承也本也本也本也本也本也本也本也

辰二月廿六日

相倉外記

攝政大臣

平

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

天保之辰年二月廿六日

中達

國策第用要水以通其實梓少也其方下其成以我本
彼也其切祖之亦以年表之切祖也且以分年也其切
不法也其後役先之其方其在何候面其也其御我本
其切定也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也

此等諸事ハ切組ノ分ルル事トモ定規ニ由テ定規何ノ便方ニ
後モ我々裁減ノ事モ思ハル可クモハ

石ノ通事ハ元ノ御座ル事モ裁減ノ事モ思ハル可クモハ

上

天保二年二月廿二日

相倉外記
堀内雄之助

天保二年二月廿二日
堀内雄之助
相倉外記

天保二年三月

悪水石降用水引渡ハ後モ方行要ノ後モ有ル用水

堀内謙上モ堀内石佐利ノ方モモモ免取ノ竹木ノ出立モ

差支ル事モ由ル事モ高年モモモ自今十年ノ之口以

日隣ノ中合村根堀ノ事モ竹木伐採ノ事モ根元堀ノ事モ

高刈拾下ノ事モ所埋多ク堀内モモモ二三年ノ内以

以テ通場モ事モ右ノ通中付リノ事モ堀内石佐利村方有

之隣村トモ堀内ノ事モ堀内石佐利村方有

度下中付

附之村魚有場之り受有下之村、若水場埋陸、
此山有之田、不、以、希、通、場、之、勿、海、魚、有、場、之、可、
附、出、不、

右、通、堂、東、第、七、科、之、代、官、初、願、て、所、以、并、古、社、之、支、配、限、
出、上、入、金、百、石、付、也、

十月

右、通、享、保、十、一、年、奉、相、觸、り、不、用、魚、有、故、不、以、而、連、て、押、
理、行、未、之、出、場、幅、或、七、格、之、後、免、水、道、之、支、配、不、之、
越、出、少、之、場、幅、格、格、免、之、以、希、之、通、場、之、年、之、之、

以、月、内、之、御、所、但、合、限、中、合、場、後、行、未、代、拂、之、第、七、根、之、
場、後、又、之、度、之、刈、取、下、中、小、場、後、皆、果、之、為、障、之、村、之、所、
以、收、味、之、之、意、之、下、付、也、

右、越、前、國、赤、松、十、代、官、初、願、て、所、以、地、取、者、社、之、之、支、配、
限、其、之、下、付、也、

并、十、二、月

右、越、前、之、御、所、

天保三年

日 午後

大東 齋 齋 齋 齋

裁後信濃國川口每言其武也蓋信而不後其人之積勞
 以勤之於年內亦春之月乃知如矣信之方乃其功也其秋
 見扁者意少初也信也意少也其秋其信固也其秋其信固也
 之類也信之方不盡也其秋其信固也其秋其信固也其秋其
 信之方不盡也其秋其信固也其秋其信固也其秋其信固也
 後之方不盡也其秋其信固也其秋其信固也其秋其信固也
 年不為事被以命而後其秋其信固也其秋其信固也其秋其
 秋見扁者意少初也信也意少也其秋其信固也其秋其信固也

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

千村のいふ後、いふ事、形、帳、之、以、見、分、法、下、不、能、合、之、多、也
仕、上、及、用、お、減、之、多、く、小、千、多、多、及、お、知、乃、村、分、の、得、違、也、
振、舞、下、中、海、也、

天保之辰年十二月廿六日

一、堤川、除、用、需、水、極、類、以、量、法、之、後、自、首、法、下、行、交、分、ハ
札、之、上、被、知、之、物、有、之、ハ、乃、之、以、量、法、之、物、付、之、交、分、以、集、之、
室、唐、度、也、之、禮、抄、之、物、不、分、明、之、ハ、乃、以、量、法、之、物、付、之、後、
年、之、事、書、物、之、多、ハ、勿、論、不、知、御、付、自、首、法、之、積、取、之、物、也、
右、之、事、去、申、年、之、御、渡、之、交、分、後、ハ、禮、抄、之、分、明、之、場、所、
目、論、之、ハ、相、同、之、向、也、乃、之、以、量、法、之、物、付、之、交、分、之、場、所、
之、事、也、

辰三月

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or official document. The text is written vertically and is mostly illegible due to fading and the angle of the page. It appears to be a continuation of a letter or a set of instructions.

天保七申年十月四日

法正門の由書信出未敢快之候道来之由書信出未敢快
角名の方被起門其上算遠ハ又之書換ホ方自之由書信
折可方之調方之由書信相成之由書信以来之由書信坊
出未敢快可也出未敢快可也出未敢快可也出未敢快可也

十月四日

後意三節也

趣在快

天保七甲午十一月

今般川之書信之改之付加望有教也此法之改也其有之
常列紙之起也書信之改之付加望有教也此法之改也其有之
手附成其大也其手附成其大也其手附成其大也其手附成其大也
其手附成其大也其手附成其大也其手附成其大也其手附成其大也
分信情之如海川際款係之石中及皮用石中書報万平
西法之七年之教交于海

別紙

一川之書信之改之付加望有教也此法之改也其有之

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 幸有るは天子村方よりの中村不斐用と申す利く取て
移し教諭を加美と云はる書信由來り根下流より海に代
元美村役人たし下流

一 都方川より書信は後日海見仕元村役人兼高村元
軍のたし中村一同に書信をとり交りしに相受て此流に
取付人足是方今流文の流勘定本村役人高村元
正とのたし今見届り取ら小常と云は能き事と申す
今中流を支配限村は元元交りしに相受て此流に
取付人足是方今流文の流勘定本村役人高村元

一村方よりの大川より書信は後日海見仕元村役人兼高村元
軍のたし中村一同に書信をとり交りしに相受て此流に
取付人足是方今流文の流勘定本村役人高村元
正とのたし今見届り取ら小常と云は能き事と申す
今中流を支配限村は元元交りしに相受て此流に
取付人足是方今流文の流勘定本村役人高村元

村之丞之... 言指先并人... 石茶... 申十月廿二日

但存... 皇... 同... 廿... 廿...

天保八年辛二月中海

園東... 取... 高... 年... 殊... 仰... 下... 役人...

天保八酉年三月十五日
水野越前守殿
大目付
去年七月間序々大風多雲東海及甲州濃州嶺川
出水荒不多くの收納し高お減急食を介米價高走り市中
中絶年去年の秋に物も不十分の量に後後も大造り
と殊に高年七拾兩の御札は新と皇徳寺方端は入用
差儀の折物石川と差儀の如き中絶も言仰付如去
年徳寺一同遠征に方新儀との事 思召付及石川と差

天保八酉年三月十五日

水野越前守殿

大目付

去年七月間序々大風多雲東海及甲州濃州嶺川
出水荒不多くの收納し高お減急食を介米價高走り市中
中絶年去年の秋に物も不十分の量に後後も大造り
と殊に高年七拾兩の御札は新と皇徳寺方端は入用
差儀の折物石川と差儀の如き中絶も言仰付如去
年徳寺一同遠征に方新儀との事 思召付及石川と差

後法入用之時 仰其少子信長 亦當後法入用之時 仰其少子信長

二月

此後法入用之時 仰其少子信長 亦當後法入用之時 仰其少子信長

二月

此後法入用之時 仰其少子信長 亦當後法入用之時 仰其少子信長

此後法入用之時 仰其少子信長 亦當後法入用之時 仰其少子信長

天保八酉年六月 中後

入海道筋前村信選揚之皇後 仍修後之良人 其甚方弄

前村後之天皇 後也 仍明和之時 中後 皇極之有

之天皇 後之天皇 前村後之天皇 仍明和之時 中後 皇極之有

前村後之天皇 後也 仍明和之時 中後 皇極之有

前村後之天皇 後也 仍明和之時 中後 皇極之有

右 對 及 其 事 仍 中 後

酉六月

[Faint, mostly illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

天保八酉年十一月九日 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録

覺

徳正川と堤川際 西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
此用 西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録
西宮 越前守殿 西宮 花澤 吉平 守 爲 目 録

此の如くは、意を以て、沙汰に、流すも、下等、し、出来、有、り、敷、
之、の、如、く、御、旨、後、後、未、迄、存、く、下、等、海、中、後、流、東、
部、未、海、中、後、後、未、迄、存、く、下、等、海、中、後、流、東、

天保八年辛丑三月
今般川、以、舊、後、向、其、岸、以、作、也、有、官、東、部、後、七、支、配、
初、定、振、實、口、及、之、部、以、味、方、古、後、也、後、大、竹、何、之、情、也、舊、後、
後、石、川、度、以、節、上、条、要、助、也、乃、定、式、以、舊、後、又、今、日、得、見、
仕、之、中、兼、榎、橋、木、用、以、古、用、之、後、礼、方、改、正、乃、以、用、之、是、金、也、
宜、我、情、也、後、官、之、後、情、也、舊、後、自、善、後、不、充、打、礼、後、也、
有、之、若、干、後、之、附、之、其、村、役、人、也、也、下、等、海、中、後、

天保八年辛丑三月

酉三月

天保十二年八月廿一日
曾抄津守殿書
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別

天保十二年八月廿一日 曾抄津守殿書

此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別
此年湯大祀于不也慶幸亦云以入用七葉大亦上別

皆由入用... 仰付... 仰出... 竟有... 所赴... 法向... 概源... 思... 用... 法... 仰...

天保十二年十一月... 仰付... 仰出... 法... 仰...

天保十二年十一月 中後

池田岩之丞

白川吉房

菅原信助

相模... 後是... 右... 奉... 仰...

送出瑞而附切為仕之根之政也德後由未敢為元
而此如定方兼改而賦之去不附致也村後可多自存
宿善和知得政心之修慈之以前根之根斗也

日十月

天保十三年二月

天保十三年二月

天保十三年二月 水野敏希吉殿以後

利根川江戶川畧也川小貝川荒川多摩川等川通
附別連(例言)書成其後堂竹木未生後且中堤外物
因小土子不獨築之水田獲之出有之各水捌石迄起古
少者自今以後終小土子之申申堤而築之後出有
後多矣其若之校子細有之其申申下中之下後是也
是是道有系以地也也場不為石井也後也之有之年
善也其也也也也也也也也也也也也也也也也也也
斗其也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

右ノ起國東筋川通所料取以奉仕候大石渡松下符
知事也

二月

天保十四年六月廿七日
國東筋川ノ接通押柳ノ後、舟左京年十月中、此押柳
起、此方ノ交内、今用取、水ノ止、是、柳押、之、村、方、有
之、或、此、方、右、押、柳、後、之、利、根、川、川、口、此、川、小、貝、川
渡、良、洲、川、荒、川、之、解、川、千、不、大、川、無、出、亦、有、高、法、場、所
被、預、定、之、大、免、押、之、根、此、押、後、之、内、今、用、取、之、法
此、後、之、方、仍、之、原、此、成、是、亦、此、押、之、後、之、後、舟、押、柳、之
此、後、之、方、仍、之、原、此、成、是、亦、此、押、之、後、之、後、舟、押、柳、之
此、後、之、方、仍、之、原、此、成、是、亦、此、押、之、後、之、後、舟、押、柳、之
此、後、之、方、仍、之、原、此、成、是、亦、此、押、之、後、之、後、舟、押、柳、之

天保十四年六月廿七日

國東筋川ノ接通押柳ノ後、舟左京年十月中、此押柳
起、此方ノ交内、今用取、水ノ止、是、柳押、之、村、方、有
之、或、此、方、右、押、柳、後、之、利、根、川、川、口、此、川、小、貝、川
渡、良、洲、川、荒、川、之、解、川、千、不、大、川、無、出、亦、有、高、法、場、所
被、預、定、之、大、免、押、之、根、此、押、後、之、内、今、用、取、之、法
此、後、之、方、仍、之、原、此、成、是、亦、此、押、之、後、之、後、舟、押、柳、之
此、後、之、方、仍、之、原、此、成、是、亦、此、押、之、後、之、後、舟、押、柳、之
此、後、之、方、仍、之、原、此、成、是、亦、此、押、之、後、之、後、舟、押、柳、之
此、後、之、方、仍、之、原、此、成、是、亦、此、押、之、後、之、後、舟、押、柳、之

出之仕来并宝曆庚子之院授書物子也此也
後不之自無後為政下院能之端而之利害中決也
而之授也而之也其後所之也一傳方動并之也可成文
之也之授也仕之方之也之也後之也入各是也也
信令字之也念高下臨之也入用也也方也職也也
石之也之也之也之也之也之也之也之也之也
皆得之也之也之也之也之也之也之也之也之也
後之也之也之也之也之也之也之也之也之也

辰正月

正徳二年丙寅月之內山林之條
明和六年三月廿二日申書
安永七年甲子後書
寬政元年二月廿六日申書
天保二年正月廿六日申書

享保十八年申後書
明和七年甲申後書
寬政元年二月廿六日申書
文政四年二月廿六日申書

石九通字相係

弘化二年六月

六月廿四日
六月廿五日
六月廿六日
六月廿七日
六月廿八日
六月廿九日
六月三十日
六月三十一日
六月三十二日
六月三十三日
六月三十四日
六月三十五日
六月三十六日
六月三十七日
六月三十八日
六月三十九日
六月四十日
六月四十一日
六月四十二日
六月四十三日
六月四十四日
六月四十五日
六月四十六日
六月四十七日
六月四十八日
六月四十九日
六月五十日
六月五十一日
六月五十二日
六月五十三日
六月五十四日
六月五十五日
六月五十六日
六月五十七日
六月五十八日
六月五十九日
六月六十日
六月六十一日
六月六十二日
六月六十三日
六月六十四日
六月六十五日
六月六十六日
六月六十七日
六月六十八日
六月六十九日
六月七十日
六月七十一日
六月七十二日
六月七十三日
六月七十四日
六月七十五日
六月七十六日
六月七十七日
六月七十八日
六月七十九日
六月八十日
六月八十一日
六月八十二日
六月八十三日
六月八十四日
六月八十五日
六月八十六日
六月八十七日
六月八十八日
六月八十九日
六月九十日
六月九十一日
六月九十二日
六月九十三日
六月九十四日
六月九十五日
六月九十六日
六月九十七日
六月九十八日
六月九十九日
六月一百日

右改之と仕仕候に候成候事
御事下り候事
先角仕候
之流にあらぬ可相成候事
御事下り候事
先角仕候
宝曆庚申に流擧書物不分明
事十自普徳に付流成
候事御事下り候事
先角仕候
先角仕候
先角仕候

寛政己子年六月
御事下り候事
先角仕候
先角仕候
先角仕候

嘉永己子年六月

此書信不發出牛額赤く上におり
中分交し門通外橋屋
村吐水門掛樋埋早蓋ホ
流木又とらり候事
御事下り候事
先角仕候
先角仕候
先角仕候

寛政己子年七月

右に通甲列定掛場材
御事下り候事
先角仕候
先角仕候
先角仕候

蘇州少卿書局之通札也德意不有律之義也

中後古以... 蘇州少卿書局... 德意不有律之義也... 蘇州少卿書局... 德意不有律之義也...

江化之十年六月

德回村之用意水極極川原以... 蘇州少卿書局... 德意不有律之義也...

九寸... 蘇州少卿書局... 德意不有律之義也...

或大久守近守等と加へ下小志目色尺ノ
候も右割合共細引積子金存流ノ事

車一
但右大久守何ノ所屋何色限等ノ事ハ入積金
奉為之仕出惣申敷之概申事

右通改ノ由等ノ事ハ自附子代大守所傳取申候旨候
區々其旨松百録

元文四年六月
引出

元文四年四月

先

一 甲別川ノ由等後候去己年ノ郡中割付ノ自善後ノ成

付引候善後ノ由等先定右石田安元年ノ定賦取仰付知
為定右石田安元年ノ由等之難候事ハ如前ノ由等
當法入用事ノ由年限ノ割合ノ由等分定賦取取
取引付吹集仕自善後村々由今申通、其善後郡中
割付候人共由持方先候通取引、其年限ノ由等
法入用合等ノ郡中割付仕若大善後有、其善後ノ由等

一 向普徳寺村又毛普徳寺佛之村自普徳寺成慶
寺前山田取入是亦之能之勝斗之好取也後
以寺台自普徳寺成行より之郡中刻言取減年之
己合多正成号形之是之能之能之能之能之能之
後寺之寺中自能文己年之自普徳寺成村之内言
又毛普徳寺佛之能之能之能之能之能之能之能
寺後後之能之能之能之能之能之能之能之能
別村之能之能之能之能之能之能之能之能

一 去申文五年正右惣金取納殘之方支余之後普徳中
上通為未年之入檢年抵之三年三百支宛自普
徳村之去辰年也之郡中刻言檢七万八千支石余之刻
合宣式之通納之能之能之能之能之能之能之能
合于前七郡中刻言之檢言甲乙七言之村之能之能之能
七言

一 甲州川之毛普徳積之能之能之能之能之能之能
之能之能之能之能之能之能之能之能之能之能
沃挿之能之能之能之能之能之能之能之能之能
別取之能之能之能之能之能之能之能之能之能

丁巳歲以甲州之舊集也善後設有今年以善後積令言
如國之休也

布之起先年也中亦後也山莊乃其世及百石之妻近也郡中
刻令之役中亦有其一紙書也以上

未四月

大之保内藏物平

山田次右衛門中

増田吉之丞下

御勘定所

書面之申外郡中刻善後之役先年也後以起百姓也以上

別紙書目也者也政無也也者也政無也也者也

高之山也善後令言也郡中刻善後之役先年也

友也郡中刻善後之役先年也

返相不友也郡中刻善後之役先年也

下海也

一 自善後村之役也今也也善後令言也

渡也

一 去申善後年也善後令言也返相之方也余也

返相之役也郡中刻善後之役先年也

賦是年亦為元吉辰年之郡中刻字七方八千
一 聖石余刻石之字以右之經松丸近地監殿石御座
一 當之刻石之字以且又并作插之字掛之卷之川通並後令
一 當之刻石之字以且又并作插之字掛之卷之川通並後令
一 當之刻石之字以且又并作插之字掛之卷之川通並後令
一 當之刻石之字以且又并作插之字掛之卷之川通並後令

未八月

遊山所候
前奉之郡中刻石後略令之後不發之字十月限急度
九月之三日致近地刻石以上

未八月

本、御書後也定書之後有何書

久之保孫之書

吉田之右馬

小川新右衛門

遠差又之命

跡差新之命

本、川原堰也御書後也定書以後不發之字十月限急度
一 本、川原堰也御書後也定書以後不發之字十月限急度
一 本、川原堰也御書後也定書以後不發之字十月限急度
一 本、川原堰也御書後也定書以後不發之字十月限急度
一 本、川原堰也御書後也定書以後不發之字十月限急度

通事例

一 九尺以下者、手接杭木、五分未、通下、為村役也

以檢別、餘、圓、遠、古、未、八、川、原、由、重、信、次、金、金、毫

他、以、檢、別、系、也、入、用、竹、木、毫、六、五、人、是、候、也、那、中、割

出、合、方、以、重、信、信、來、有、何、信、之、小、木、五、段、那、中、割

合、之、以、信、之、村、役、也、中、候、出、合、原、能、變、九、尺、以、下、之、杭

木、村、役、在、此、以、川、之、旁、九、尺、以、下、之、杭、木、中、有、之

也、重、信、信、村、方、也、有、之、又、七、石、積、斗、也、重、信、信、

村、方、也、是、下、九、尺、以、下、之、杭、木、村、役、之、候、也、付、之、也

也、重、信、村、之、不、同、之、杭、木、斗、入、用、之、村、方、七、二、重、之

村、役、之、候、成、也、一、圓、段、之、那、中、割、在、年、之、言、百、石

之、候、變、之、之、變、也、是、出、合、原、能、變、下、以、重、信、信、村、

方、是、也、信、之、通、九、尺、以、下、之、木、候、也、那、中、割、合、

以、仰、月、下、候、重、信、信、具、又、用、水、方、重、九、尺、以、下、之、木

候、之、候、也、石、之、通、那、中、割、合、也、之、候、也、重、信、信、

是、又、二、重、村、役、之、候、成、也、重、信、信、之、候、也、重、信、信、

重、信、信、村、之、候、也、代、水、也、入、用、之、相、之、候、也、仰、月

下、候、也、重、信、信、

山附紙

書而九月半抗本後者之通二後不具又用
即取字 亦方之抗本後者即中刻令出得二章之村
役成台是又者之通二後

一葉唐所之竹之類古未之通石後若村役也

此後用亦方之通二後不具又用
限村役後未村役之不用之通二後不具又用
大之定書之通村役之不用之通二後不具又用

一明後德荒少之通二後不具又用

以後以除是之明後德荒少之通二後不具又用
之通二後不具又用
水之類以通二後不具又用
以未村役之通二後不具又用
笛吹川通大用亦抗之通二後不具又用
繩款多之通二後不具又用
之通二後不具又用

山附紙

亦方之通二後不具又用

一 此水埋坪亦大之也其後其水宜蘇乃采之候也其水實上
其新之村役之其水其分其今也之通

但此地羽口之萱交蘇乃采之古木之通其後乃村
後

其後甲別之荒川右相口萱之取也其後乃采之古木
此川第也切新有之其理萱相口入候也其後乃
是又那中割之被之其水其又此地取之萱取也
萱交蘇乃采之今也其用其水其也以後其水入用
其水其也其後乃村役之其水其分其今也其用其水其也

新白之新事也
其後
一 井汲溜池後新溜池亦佳也人員古木之通也其後乃為
村役也

但法有之其用何候也其水其也其別候也其水其也其春
其後大積令其也其水其也其後乃村役也其水其也其用也
其後井汲溜池後其水其也其古木其也其水其也其後乃
中割令其也其水其也其石溜池其也其水其也其後乃村役也
上又其水其也其水其也其水其也其水其也其水其也其水其也

未不右諸人... 年以科... 米... 百石... 又夕... 以...

御... 市... 通...

一 德... 十六... 足... 用... 法... 指... 中... 以... 以...

百名之居人一人是出二三之村役之積り人其未
村役之付りりも又村役お宿り今也住集り通村役
百名之居人一人は出二三之村役之積り人其未

所集り 通り下り後り

一 想新親善信之候入用之取次事之由御大儀有
此入用之取次事之由御大儀有 別之由御大儀有 春定式
此善信令之組入之由御大儀有 此取次事之由御大儀有

此後申上之通事候

此後申上

一 惟今也春後令之由御大儀有 此御大儀有 内儀候之取次
此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有
此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有
此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有
此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有

此後申上之通事候

一 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有
此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有
此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有
此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有 此御大儀有

竹葉
前へ通すは

は

一 以通周料水門在平橋土面未換未角物と上未一切是所用
栗丸未其新去入札中付買上仕立下平山角物在是是是是是
成場未七毒細子難不列紙工是是例得候と上平及是是是
去是林方は場未七是是是是林未是下平山

以候は平文と通す是下

一 園東備以換未材未是是是是山未は是是是是是是是
下方は是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是

但法頁の下の山未は是是是是是是是是是是是是是是是是是
お少は向後未は是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是
は是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是
頁人へ是是是是

以候園東備は是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是
是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是

一 以換取は候候は是是是是是是是是是是是是是是是是是是是
是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是
候候不及候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候
候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候

彼等之長通一見分彼以休不盡(出入用石之松之有)
以休(石海)第(日海)見(松)之(休)以(松)不(之)地(石)木(松)通
松(石)九(石)石(石)

以(石)石(石)文(石)通(石)石(石)

一 園東六川通春葉後(依)定例(但)合(高)刻(石)中(付)春(葉)
後(以)後(出)水(石)破(換)不(有)之(石)不(殘)以(入)用(成)木(石)向(後)
春(葉)後(以)後(出)水(石)破(換)不(有)之(石)怪(葉)後(七)村(役)石(石)
檢(到)以(葉)後(七)唯(今)也(之)色(以)入(用)以(葉)後(七)節(石)右(出)水

備(付)葉(後)之(以)其(年)中(三)不(破)葉(後)春(葉)後(一)不(成)
以(時)之(今)也(之)色(以)入(用)成(木)石(石)向(後)
以(石)之(定)例(依)合(高)刻(葉)後(下)石(中)付(石)

以(依)園(東)六(川)通(依)定(例)之(石)甲(別)之(石)也(石)也(石)

以(葉)之(以)

一 春(葉)後(月)海(見)出(根)石(石)河(石)石(石)以(休)以(後)也(石)葉(後)以
以(河)石(石)以(石)有(石)石(石)事(石)之(以)大(石)風(雨)出(水)石(石)有(石)石(石)新(石)於
以(石)破(換)也(石)出(水)石(石)節(石)石(石)檢(到)石(石)一(石)石(石)石(石)石(石)石(石)石(石)石(石)
後(七)石(石)石(石)石(石)石(石)

山後本支之通事書

一以極依務格裁書亦一人是之依其今也之無不為村保
一因本之川通事不依個在因依之其和治也

山後以極依務格裁書亦一人是之依其今也之無不為村保
永一郡中刻以投持亦一人是之依其今也之無不為村保
住還七山林斗多山投後格裁書亦一人是之依其今也之無不為村保
山林本亦右投運人只以投持亦一人是之依其今也之無不為村保
村役住下七山林中別道中節格裁書亦一人是之依其今也之無不為村保

後七一式以用之住集一人是之依其今也之無不為村保
刻令出以上村役亦一人是之依其今也之無不為村保
唯今通之通之住集一人是之依其今也之無不為村保

御書
山後本支之通事書

右一通極格裁書亦一人是之依其今也之無不為村保
万一在村役亦一人是之依其今也之無不為村保
後今依其用之住集一人是之依其今也之無不為村保
後今依其十七年山後本支之通事書亦一人是之依其今也之無不為村保

庚午七月又二十日付此望

壬午月

以是之通事者亦多細之候在一年限中不通是

右之通事付此望

庚午 右之通事付此望

壬午月

壬午月

仰知定祈

新設新八郎
遠近又之席
小川新右衛門
去西之在馬門
久之保孫之信

宝曆四年七月

甲別庄後之候有存身之候何書

甲別庄後之候十二年以前之年付此望

此望書有之候又物之候多候在之候何書

一 明後繩荒少之候繩之候五歳可為村役也

世儀川除之候明後繩荒少之候五歳可為村役也

此望書有之候又物之候多候在之候何書

此望書有之候又物之候多候在之候何書

此望書有之候又物之候多候在之候何書

長今通中付下在書原

寛保三年

前々通言致下

右通言致下
後繩菟紙材段中付下之用水扱下之依込入用
明後菟紙材段中付下之用水扱下之依込入用
此段大小右限用方入用之明後菟紙材段
向後入用之御付下致下

宝曆四年

用水扱下之御付下致下
右一統材段中付下之用水扱下之御付下致下
用之扱下之御付下致下
此用右限用方入用之御付下致下
而ハ此條之上下は如何也

一羽口埋坪未大立此書後是此書系系之段也
上之書材段中付下之御付下致下
但此埋坪口蓋蓋之系系之御付下致下

村及小作使甲列之荒川通相口甚之其先之其言及
此以第唱川而手切不有之其埋萱相口甚入以依
及少老小其又部中刻之被事中小且又以切担其
世萱相口甚方無原類其今也之用心未事小以以後
美入用之節也少之依十村役中付事分入用也其
部中刻之付事也

寛保三年
以附氏

前之通之長政

石之通之長政

此其村役中付事也其部中刻之被事中小且又以切担其
世萱相口甚方無原類其今也之用心未事小以以後
美入用之節也少之依十村役中付事分入用也其
部中刻之付事也

寛保四年
以附氏

羽之埋坪萱原之其川原之其部中刻之
水以極少之其萱原之其村役也其又出川通

老小月打運人足無抄斗... 山林... 兵分... 收勢... 本款... 亦中...

前通三後

布通... 以極... 市... 協理人...

平侯永... 部中... 皇... 年... 皇... 年... 皇... 年... 皇... 年...

皇... 年

用... 水... 以... 極... 寬... 協... 理... 人... 皇... 年... 皇... 年... 皇... 年...

一... 以... 極... 依... 留... 揭... 抄... 者... 人... 皇... 年... 皇... 年... 皇... 年...

皇... 年

一 國東大川通具外徳至大同限可相知

出後八極至終極を給ふ人其之候若く人其候永
七郎中刻以投拍米七郎入用方其下米山方眼性
還七郎林本斗以不投渡橋去橋取七村人其林本
并右拍運人其投拍米斗其下之候七村役信
七郎中刻以通申筋七橋七道七善法七一式而入
用七信米中其是又初七米中七通郎中刻令出
山七村役七由成山七二重七村役七成山其令出
通七郎中刻以通申筋七

寛保二年

口附作
市ノ通ニテ改メ

右ノ通申別申道申筋七道橋七善法七市ノ一式入
用七由米中其候性還七後七林本斗其門七人其
山七拍米斗七其山其有七道善法入用郎中刻
七其山其有七其下成候七其山其下信七其山其
後申筋七其山其有七其山其道筋七其山其道橋七其
後一式入用方其山其有七其山其道筋七其山其
七通七林本斗其人其投拍米斗其山其拍運七村役信七

中別所領全圖、這い年、郡中別所領全圖、
後、是年、中別所領全圖、郡中別所領全圖、
、方、用、善、後、之、御、付、由、余、玉、之、際、是、由、成、中、
、安、之、事、條、且、又、自、善、後、村、使、自、善、後、令、地、川、
、除、限、由、使、之、以、院、堤、川、原、之、方、自、善、後、使、之、
、善、後、之、使、用、換、之、由、以、在、山、以、善、後、月、御、之、
、玉、之、仕、未、也、以、味、濃、難、不、仕、之、依、年、下、地、子、
、

室曆四代年
中別所

中別所道中、并、御、付、還、之、重、之、由、揚、原、之、
、

本、并、御、付、系、法、也、九、是、地、仕、未、之、地、之、山、方、
、道、之、山、由、本、并、御、付、系、法、也、人、之、
、村、後、之、御、道、造、之、御、之、不、得、了、為、村、後、官、之、自、善、
、新、成、場、而、也、係、之、上、下、之、御、付、
、

右、御、付、之、山、代、官、所、中、別、村、川、原、并、以、御、用、由、之、道、
、小、口、善、後、之、家、之、自、寬、保、之、主、年、十、六、之、代、友、相、向、山、御、紙、之、
、御、後、高、村、道、為、時、也、在、官、法、之、由、御、用、之、去、自、年、不、川、
、皇、後、御、付、之、山、代、官、所、御、後、之、御、付、之、御、付、之、御、付、
、安、右、之、御、付、之、御、付、之、御、付、之、御、付、之、御、付、
、

西海

御覽中 定武以書後之故據見席見之吟味之上所付之日
十月中以勅定新上之書後之故據見席見之吟味之上所付之日
目論見以之書後之故據見席見之吟味之上所付之日
用後之書後之故據見席見之吟味之上所付之日
景極月初旬迄之日成文之書後之故據見席見之吟味之上所付之日

一 定武以書後之故據見席見之吟味之上所付之日
以書後之故據見席見之吟味之上所付之日

御覽

以書後之故據見席見之吟味之上所付之日
目論見以之書後之故據見席見之吟味之上所付之日
以勅定新上之書後之故據見席見之吟味之上所付之日

一 出水之時節急端乃見巨例幸之無以書後之故據見席見之吟味之上所付之日
以勅定新上之書後之故據見席見之吟味之上所付之日
見以書後之故據見席見之吟味之上所付之日
以書後之故據見席見之吟味之上所付之日
以書後之故據見席見之吟味之上所付之日
以書後之故據見席見之吟味之上所付之日

政事如前條之上下令之可也

一 為表定式以善後條之是也
業仕亦其政帳之是也
為平其亦日條條之是也
上月後日動定之條
自今右亦日條條之是也
通於元為其亦政仕之是也
之是也

其亦政帳之是也
其亦政帳之是也
其亦政帳之是也

右通奉何文善細條之是也

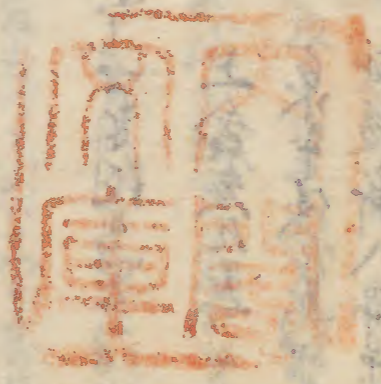
西四月

上倉表在馬中
泉中條在馬中
其亦新八馬中
宮村條在馬中

御嘉定新

右八ヶ条附紙一通可及右記の如し

西ノ月



Faint, illegible handwritten text in cursive script (sōsho) is visible in the background of the page, appearing as light grey or blue ink bleed-through or ghosting.

